

信用保証に関する金融機関アンケート調査結果の概要 (2016年度上期調査)

定例調査

- 【概況】 ・中小企業向け貸出D.I.は、引き続きプラスで推移
・信用保証付貸出D.I.は、引き続きマイナスで推移
・条件変更D.I.及び代位弁済D.I.は、引き続きマイナスで推移

【中小企業向け貸出】

- 中小企業向け貸出D.I.は4.7と7期連続でプラス。
次期見込みは横ばいの3.9。

【信用保証付貸出】

- 信用保証付貸出D.I.は▲9.0と10期連続でマイナス。
次期見込みは▲7.8とマイナス幅がやや縮小。

【信用保証付貸出における条件変更】

- 条件変更D.I.は▲3.3と8期連続でマイナス。
次期見込みは横ばいの▲3.1。

【金融機関から信用保証協会への代位弁済請求】

- 代位弁済D.I.は▲8.1と6期連続でマイナス。
次期見込みは横ばいの▲7.4。

特別調査

～中小企業のライフステージに応じた取組み等について～

- ・「創業・新事業開拓を目指す企業」、「経営改善が必要な企業」及び「事業再生や業種転換が必要な企業」では信用保証の必要性が高くなっている。

【プロパー貸出を積極的に推進しているライフステージ】

- 「成長段階におけるさらなる飛躍が見込まれる企業」が最多。

【信用保証の必要性が高いライフステージ】

- 「創業・新事業開拓を目指す企業」が最多、次いで「経営改善が必要な企業」、「事業再生や業種転換が必要な企業」が続く。

【信用保証の必要性が高い企業の特徴】

- 「小規模事業者」が最多、次いで「内部格付けが低い先(要注意先以下)」、「取引歴が浅い先又は新規の取引先」、「担保余力が乏しい先」が続く。

【貸出先(中小企業)が抱える経営課題】

- 「営業力・販売力の強化」が最多、次いで「後継者の確保・育成」、「人材の確保・育成」が続く。

【貸出先(中小企業)のライフステージに応じた積極的な取組み】

- 「ビジネスマッチング」が最多、次いで「事業計画の策定支援」、「事業性評価融資の推進」が続く。

<お問合わせ先>

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 保険分析グループ (担当：宮本、角)

TEL：03-3270-2384 FAX：03-3242-0033 E-mail：cnhbunseki@jfc.go.jp

本資料は日本銀行金融記者クラブ、経済産業記者会に同時配布しております。

信用保証に関する金融機関アンケート調査結果の概要 (2016年度上期調査)

<調査の要領>

調査時点	2016年4月
調査方法	郵送による記名式アンケート調査
調査対象	267の金融機関(都市銀行5、地方銀行64、第二地方銀行41、信用金庫134、信用組合23) (信用金庫および信用組合については各々一定額以上の保証債務残高を有する金融機関)
回答数	245の金融機関(都市銀行5、地方銀行54、第二地方銀行39、信用金庫124、信用組合23)
回答率	91.8%

<特別調査>

中小企業のライフステージに応じた取組み等について、調査を実施。

(注) D.I. = (「増加」と回答した金融機関の割合 + 0.5 × 「やや増加」と回答した金融機関の割合) - (「減少」と回答した金融機関の割合 + 0.5 × 「やや減少」と回答した金融機関の割合)。前年同期比での増減見通し。

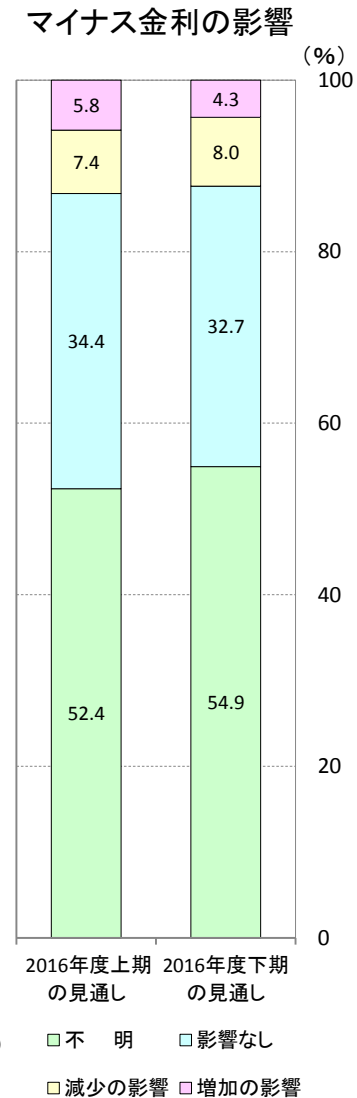
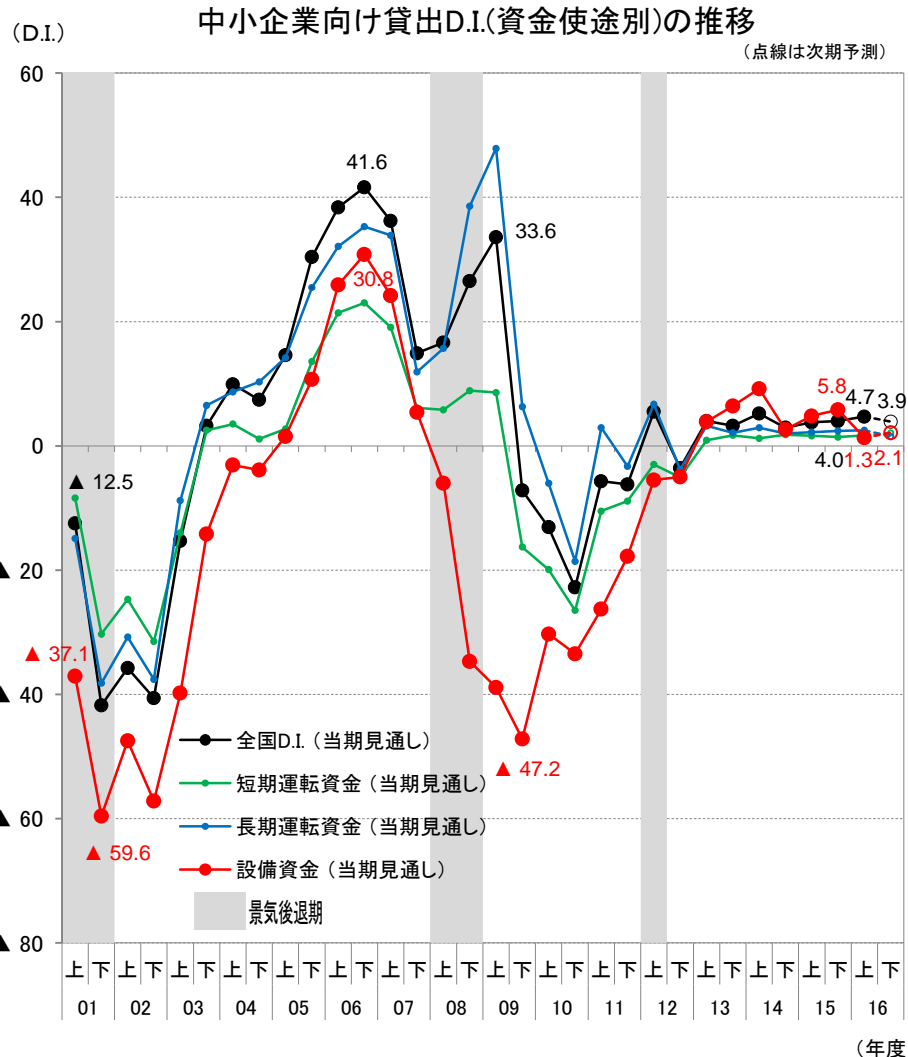
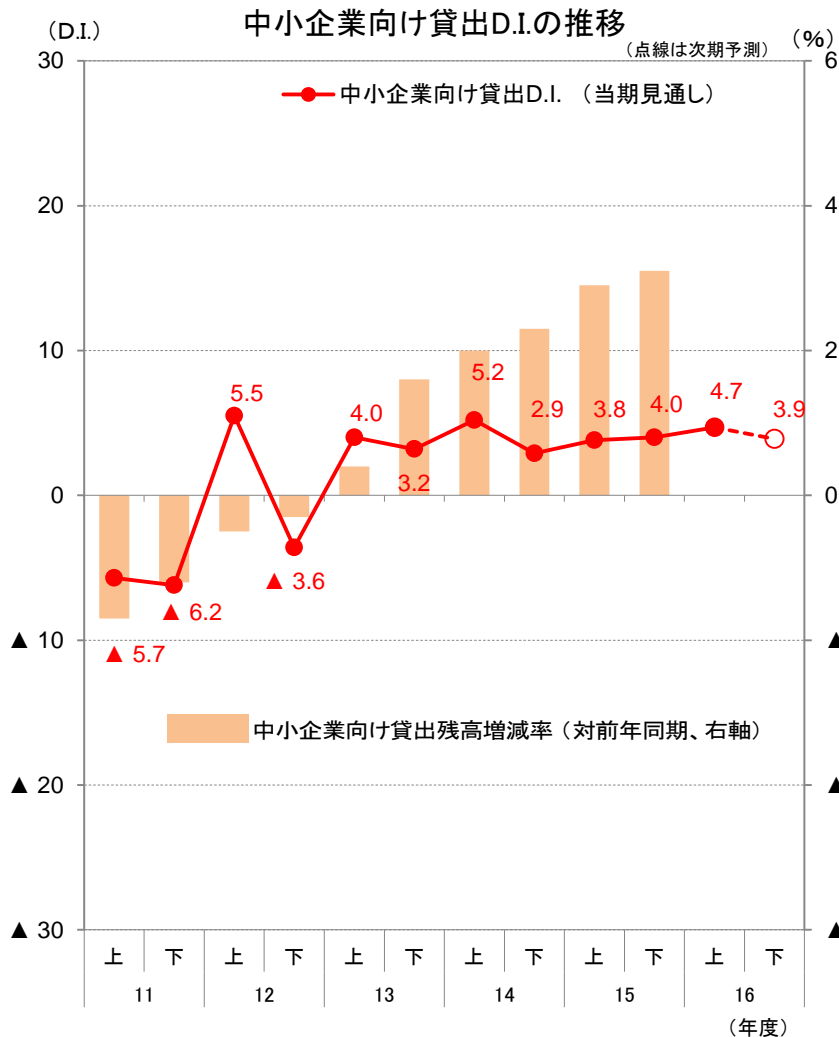
(注) 地域別集計は、都市銀行の回答は含まず、以下の都道府県に本店を構える金融機関の回答を集計したもの。

【 】内の数字は、回答金融機関数／調査対象機関数。

東北・北海道【28/34】: 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
 関東甲信越【83/88】: 新潟、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
 東海・北陸【50/53】: 静岡、愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井
 近畿【34/37】: 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
 中国【16/16】: 鳥取、島根、岡山、広島、山口
 四国【8/9】: 香川、徳島、高知、愛媛
 九州・沖縄【26/30】: 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

1. 中小企業向け貸出の動向について

- ◆ 中小企業向け貸出D.I.は、2013年度上期以降、7期連続でプラス。次期は横ばいの見込み。
- ◆ 資金使途別にみると、設備資金のプラス幅がやや縮小。次期は横ばいの見込み。
- ◆ 中小企業向け貸出に対するマイナス金利の影響は、「影響なし」及び「不明」を併せて80%超を占める。

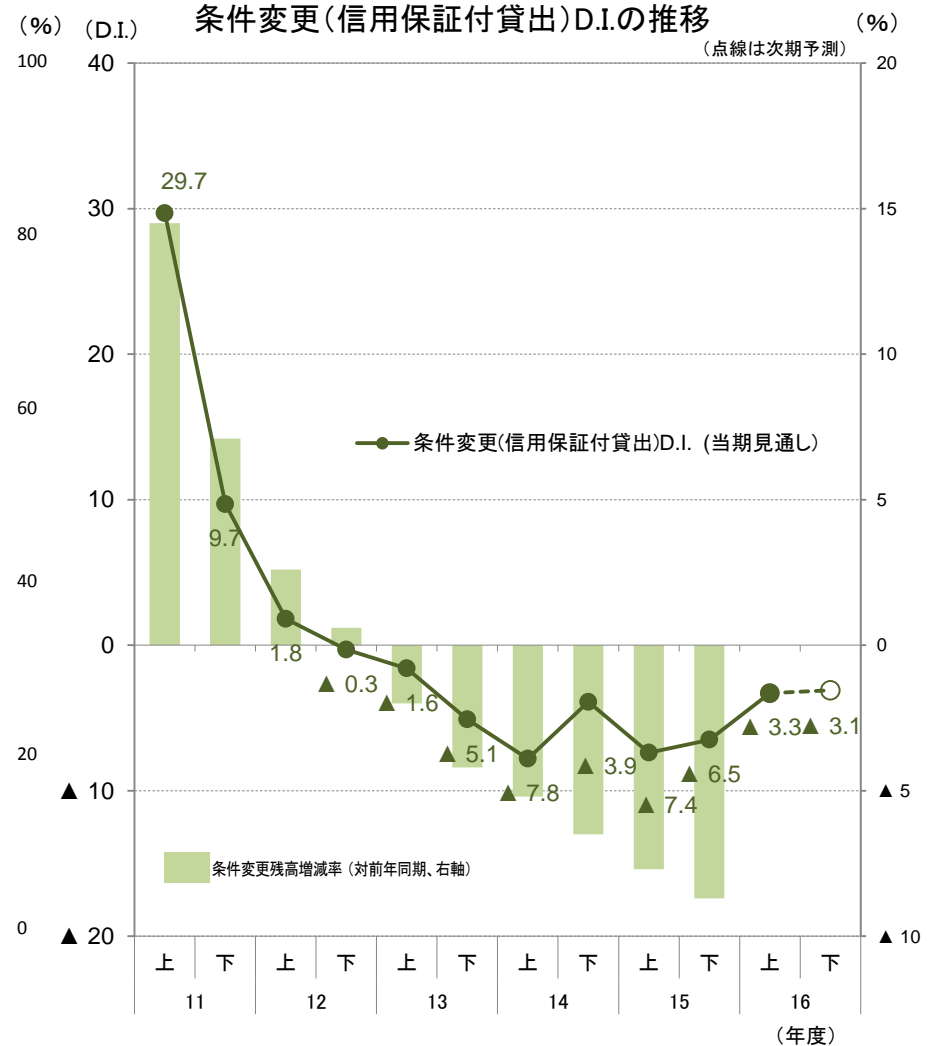
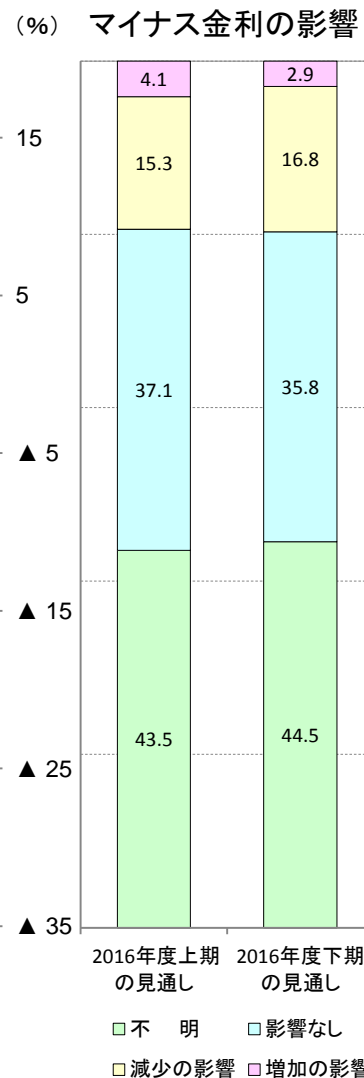
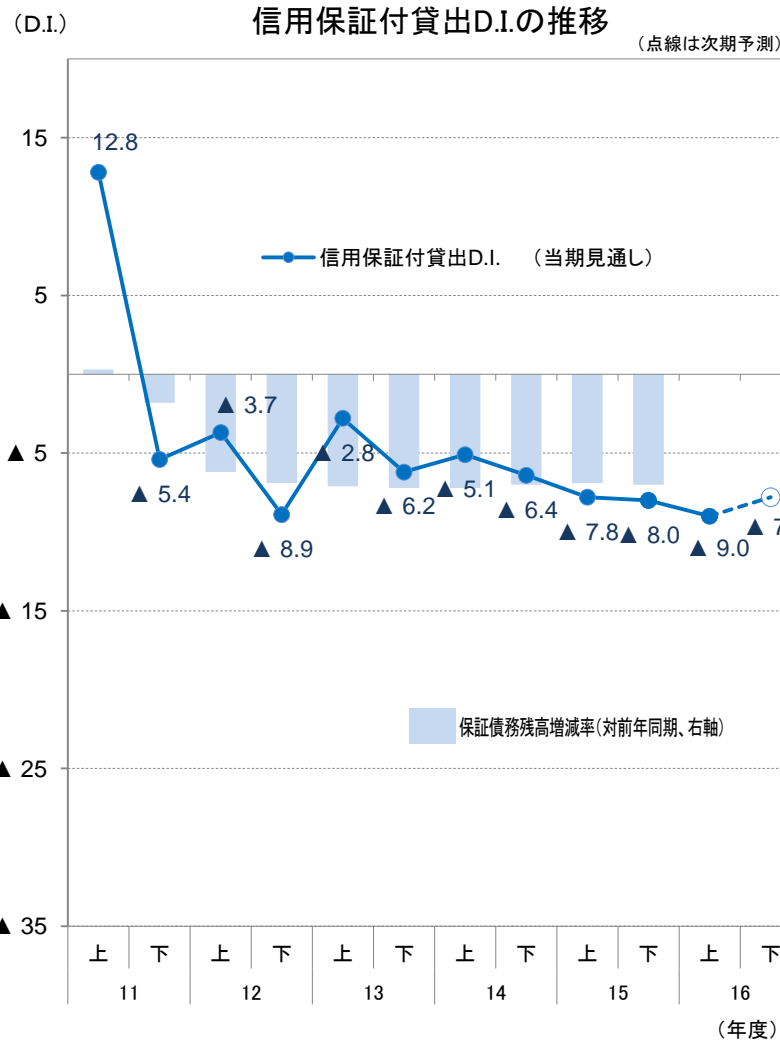


2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

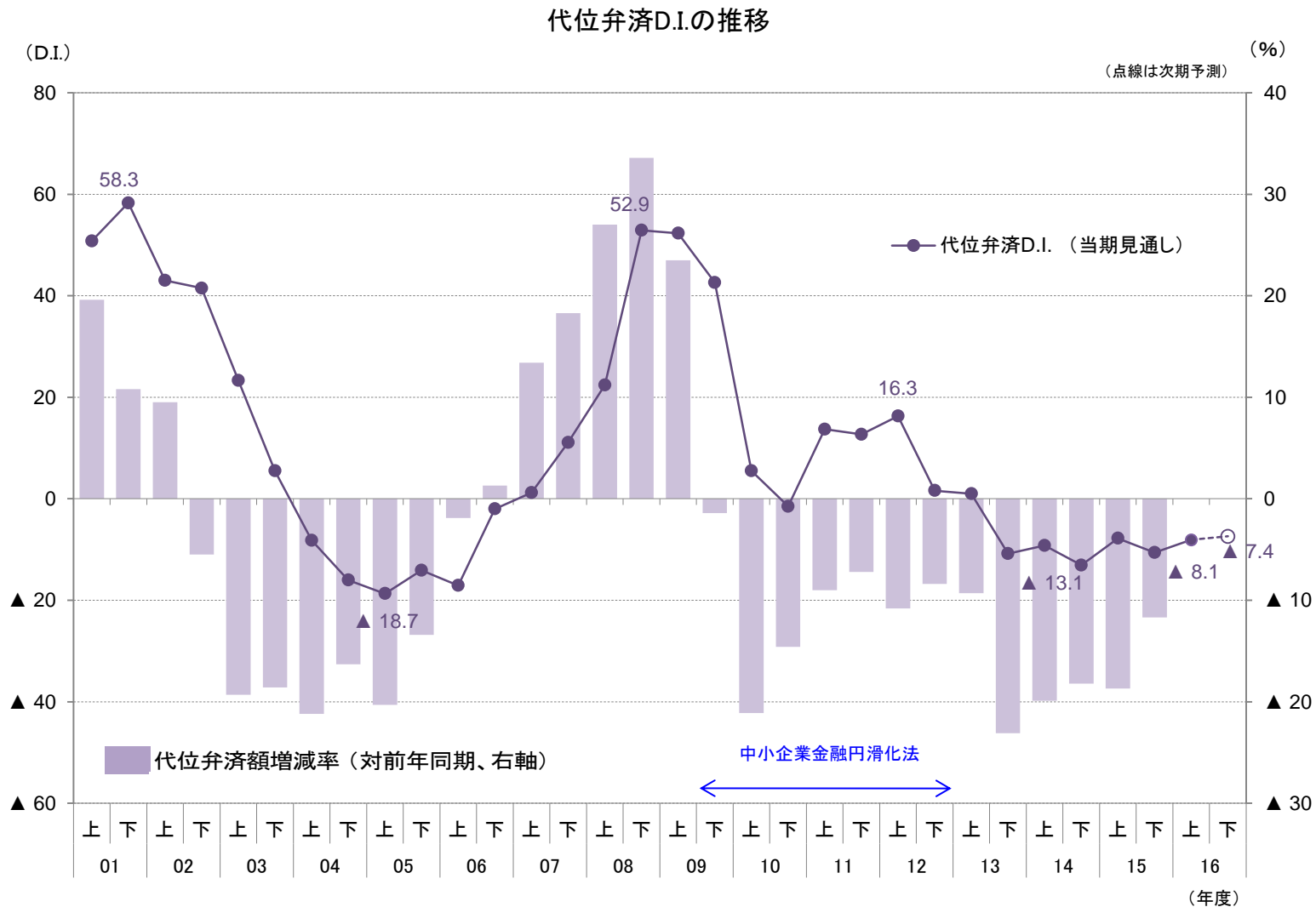
2. 信用保証付貸出の動向について

- ◆信用保証付貸出D.I.は、2011年度下期以降、10期連続でマイナス。次期はマイナス幅がやや縮小の見込み。
- ◆信用保証付貸出に対するマイナス金利の影響は、「影響なし」及び「不明」を併せて80%超を占めているが、中小企業向け貸出と比較し「減少の影響」が大きくなっている。
- ◆信用保証付貸出における条件変更D.I.は、2012年度下期以降、8期連続でマイナス。次期は、横ばいの見込み。



2. 信用保証付貸出の動向について(つづき)

◆金融機関から信用保証協会への代位弁済D.I.は、2013年度下期以降、6期連続でマイナス。次期は、横ばいの見込み。

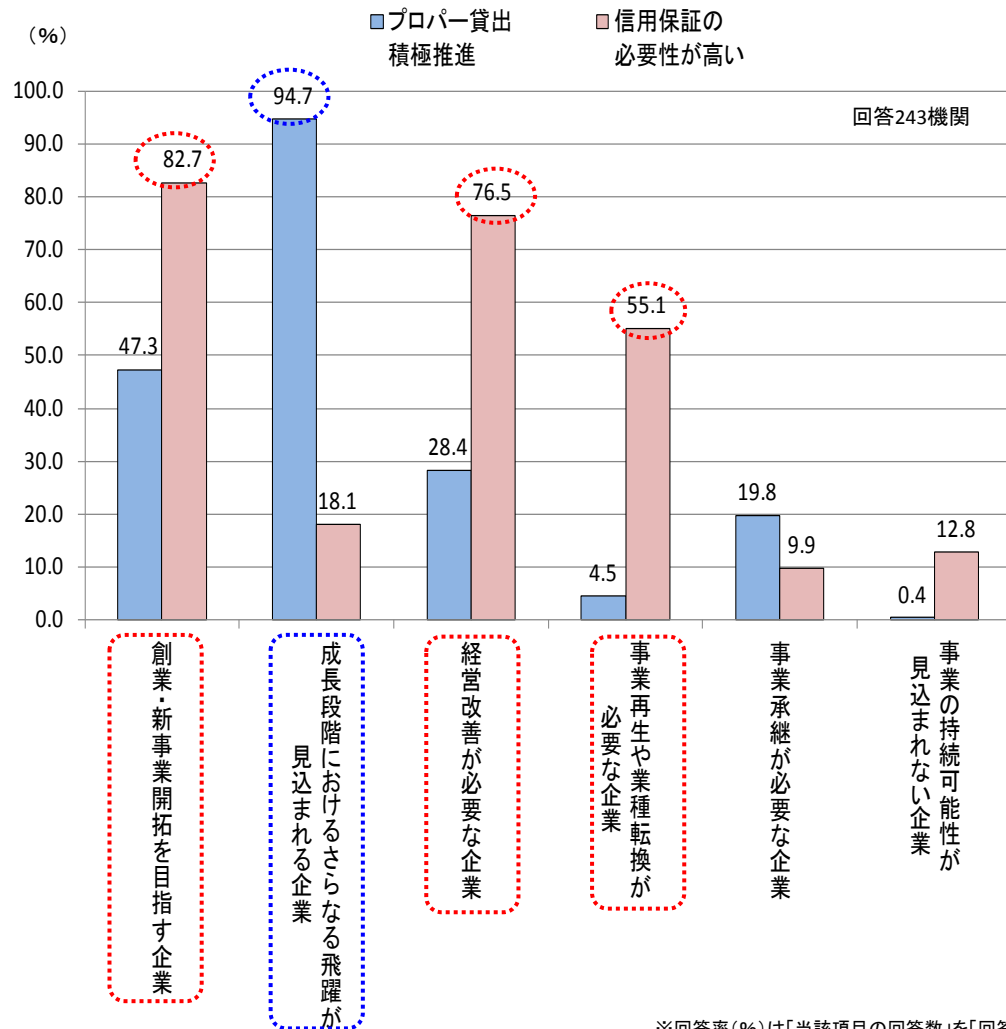


2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

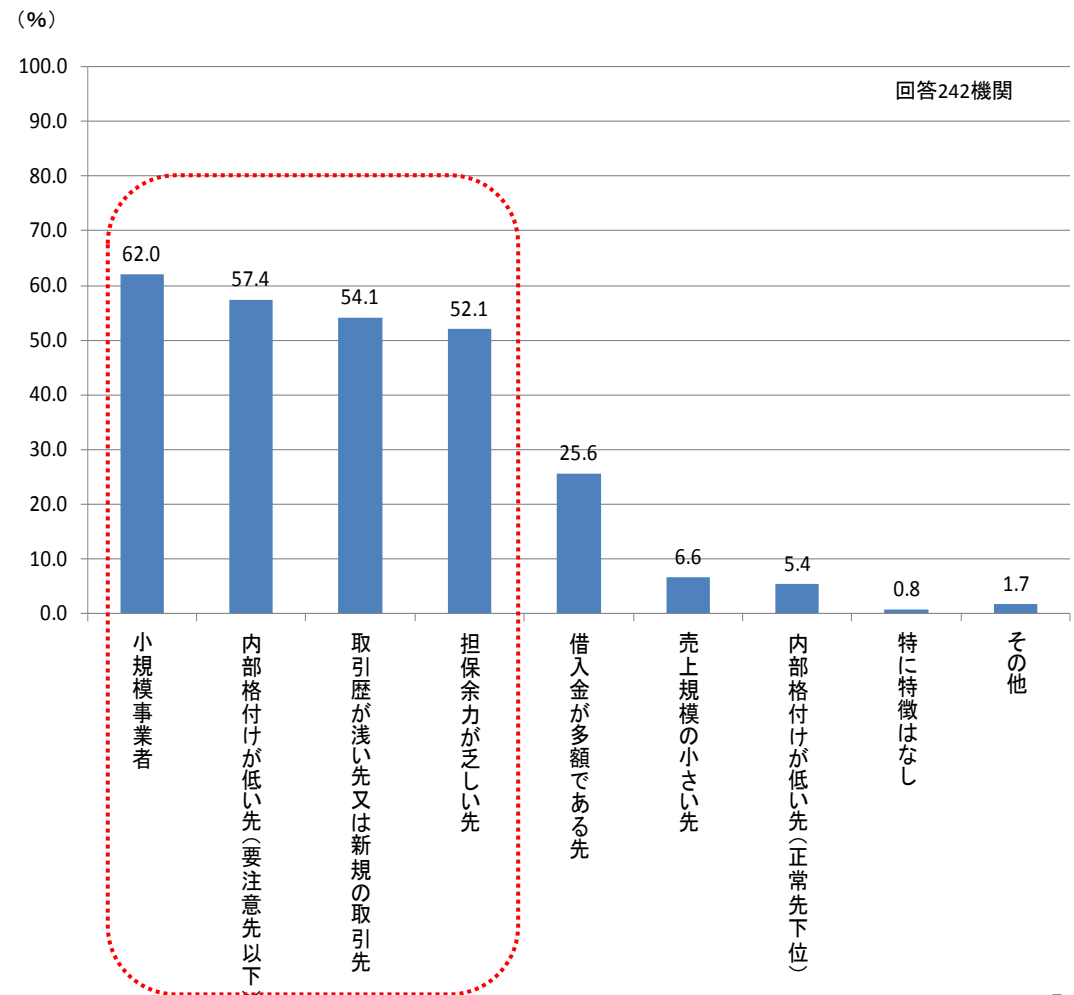
2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

- ・ライフステージ別でみると、「創業・新事業開拓を目指す企業」は信用保証の必要性が高く、「成長段階におけるさらなる飛躍が見込まれる企業」はプロパー貸出を積極的に推進している金融機関が多い。
- ・また、「経営改善が必要な企業」及び「事業再生や業種転換が必要な企業」は信用保証の必要性が高いという傾向が見られる。
- ・信用保証の必要性が高い企業の特徴は、「小規模事業者」が最多、次いで「内部格付けが低い先(要注意先以下)」、「取引歴が浅い先又は新規の取引先」、「担保余力が乏しい先」が続いている。

「プロパー貸出の推進」と「信用保証の必要性」の比較(ライフステージ別)



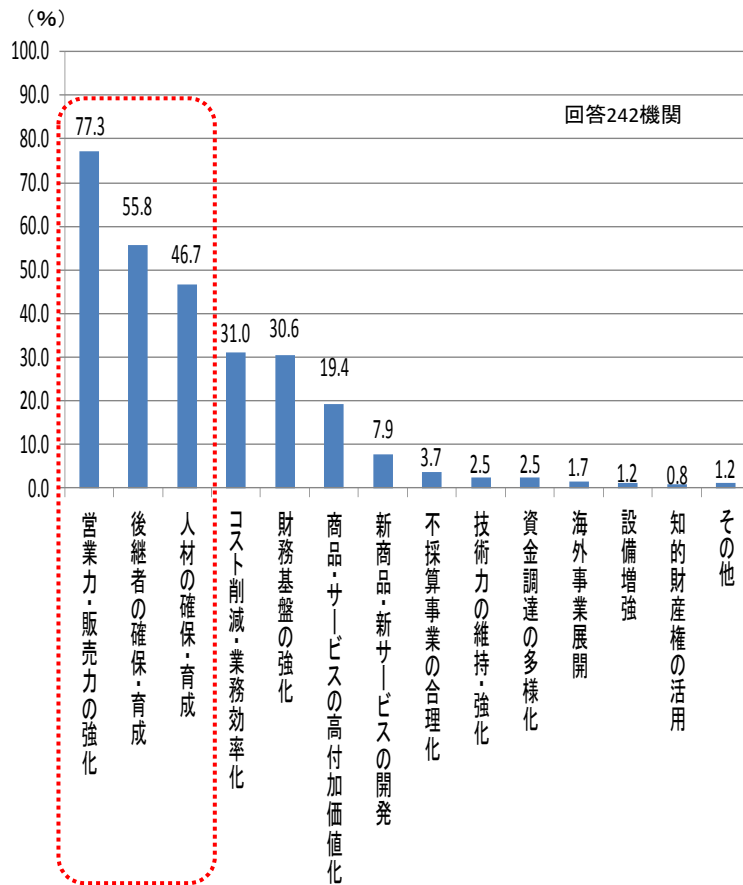
信用保証の必要性が高い企業の特徴



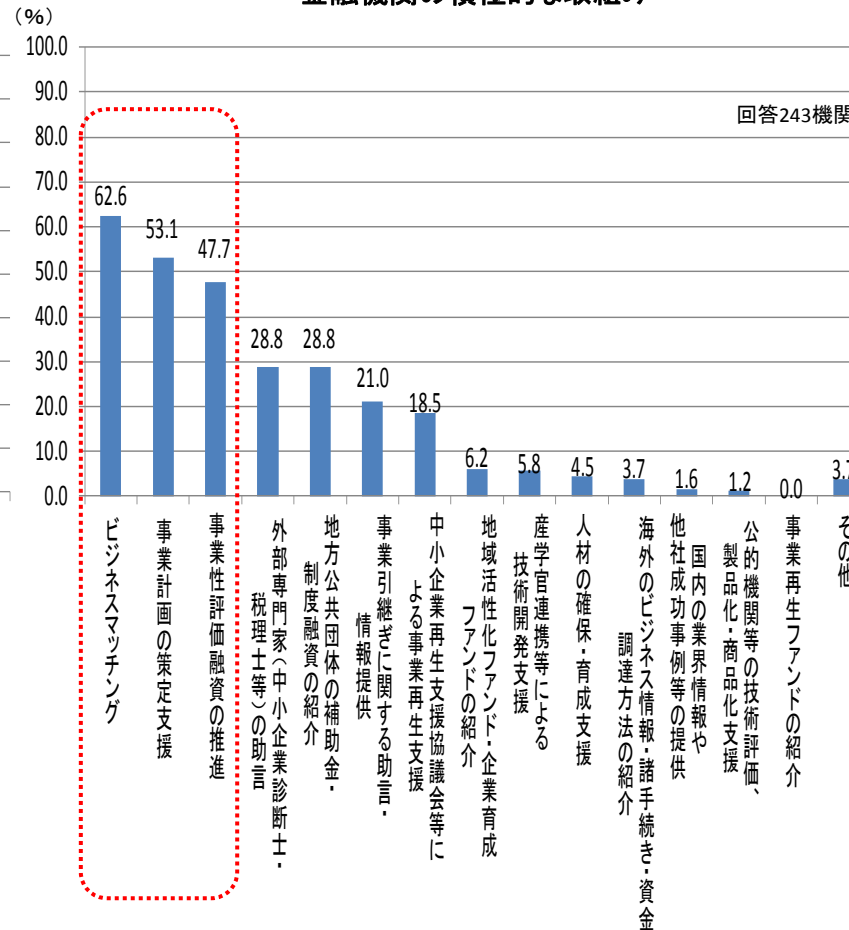
※回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

- ・貸出先の中小企業が抱える経営課題については、「営業力・販売力の強化」が最多、次いで「後継者の確保・育成」、「人材の確保・育成」が続いている。
- ・貸出先のライフステージに応じた金融機関の積極的な取組みについては、「ビジネスマッチング」が最多、次いで「事業計画の策定支援」、「事業性評価融資の推進」が続いている。
- ・金融機関が経営支援等を積極的に検討するようになる総借入残高に占めるシェアは、「50%以上」及び「シェアが最も高くなったとき」を併せて5割強を占める。

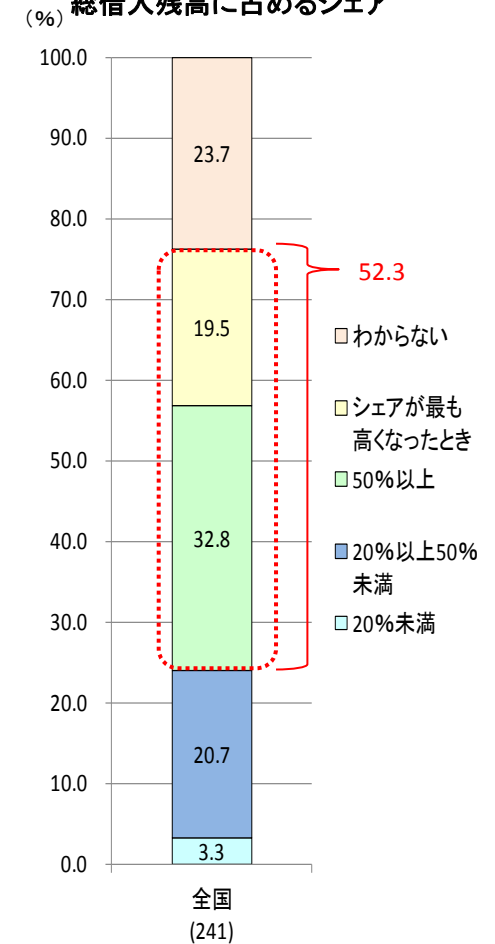
貸出先が抱える経営課題



貸出先のライフステージに応じた金融機関の積極的な取組み



経営支援等を積極的に検討するようになる総借入残高に占めるシェア

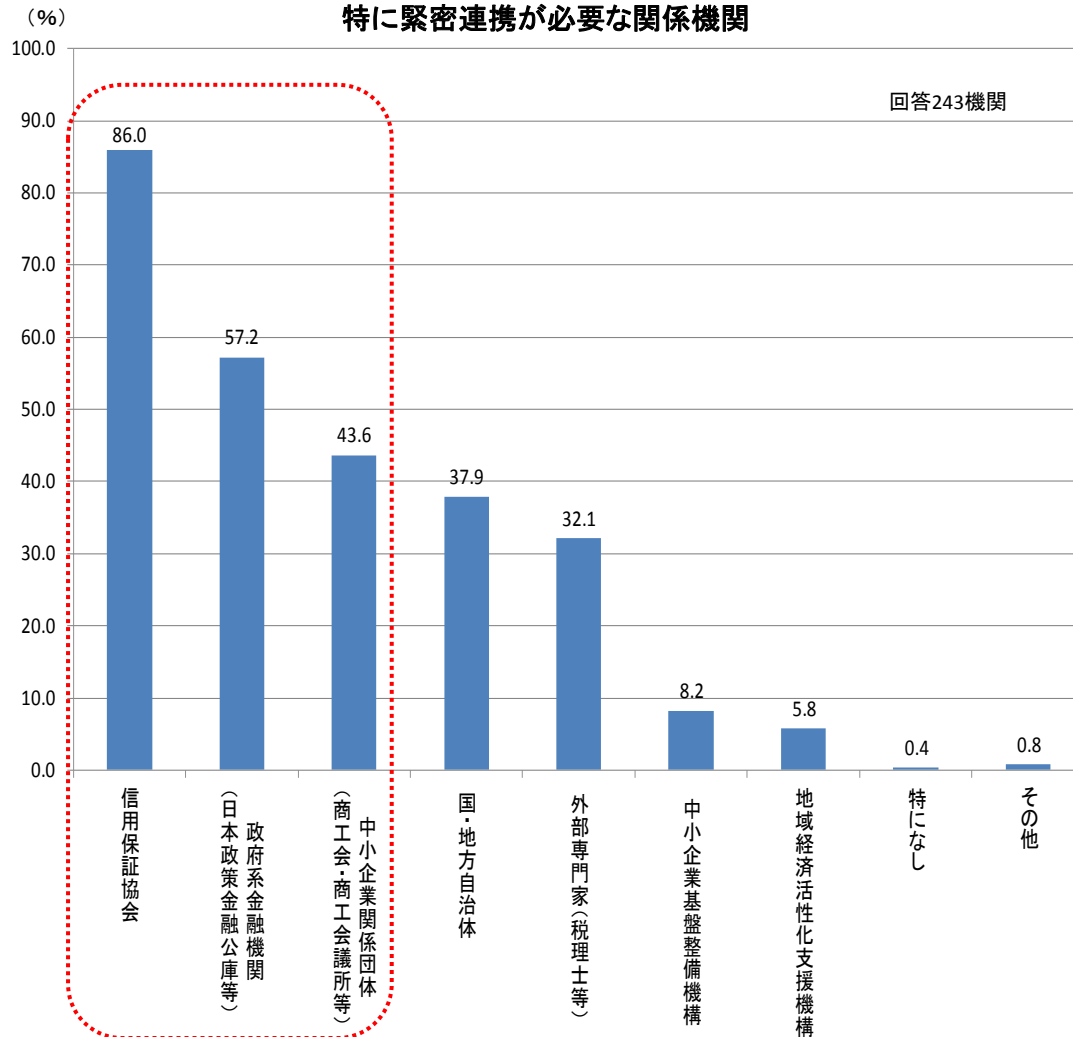


※回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

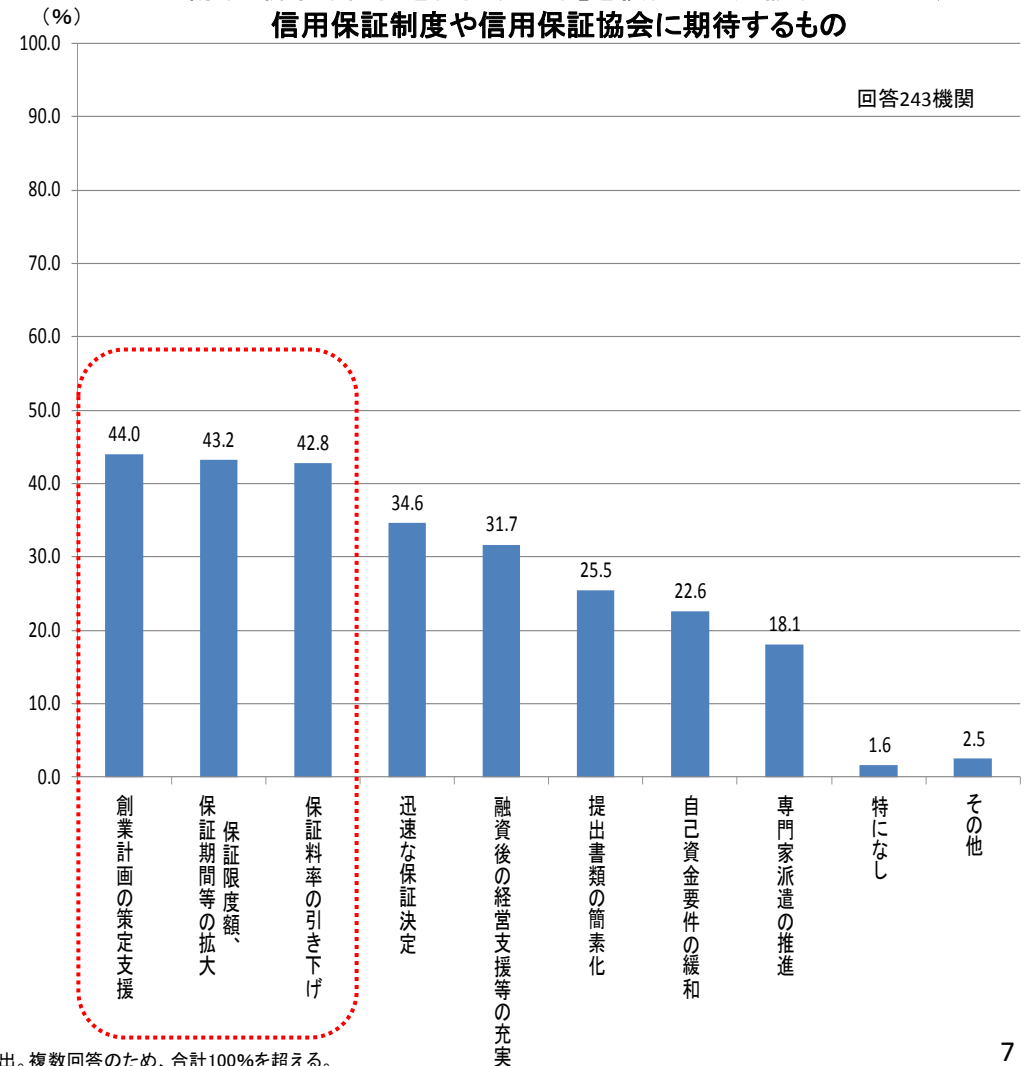
※()内は回答金融機関数

- ・「創業・新事業開拓を目指す企業」を積極的に支援するために、特に緊密な連携が必要な関係機関は、「信用保証協会」が最多、次いで「政府系金融機関」、「中小企業関係団体」が続いている。
- ・「創業・新事業開拓を目指す企業」を積極的に支援するために、信用保証制度や信用保証協会に期待するものについては、「創業計画の策定支援」が最多、次いで「保証限度額、保証期間等の拡大」、「保証料率の引き下げ」が続いている。

「創業・新事業開拓を目指す企業」を積極的に支援するために、特に緊密連携が必要な関係機関



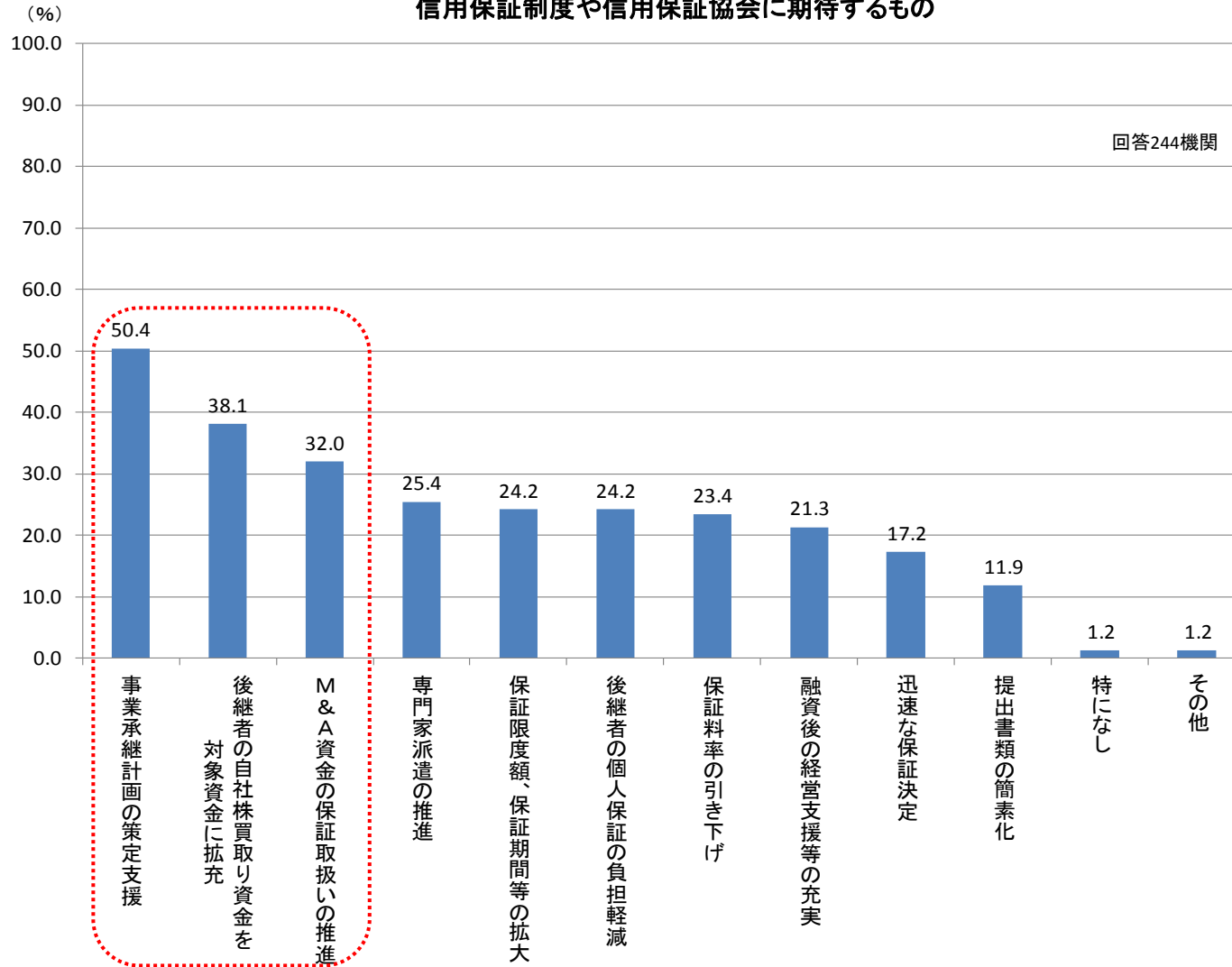
「創業・新事業開拓を目指す企業」を積極的に支援するために、信用保証制度や信用保証協会に期待するもの



※回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

・「事業承継が必要な企業」を積極的に支援するために、信用保証制度や信用保証協会に期待するものについては、「事業承継計画の策定支援」が最多、次いで「後継者の自社株買取り資金を対象資金に拡充」、「M&A資金の保証取扱いの推進」が続いている。

「事業承継が必要な企業」を積極的に支援するために、
信用保証制度や信用保証協会に期待するもの



※回答率 (%) は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

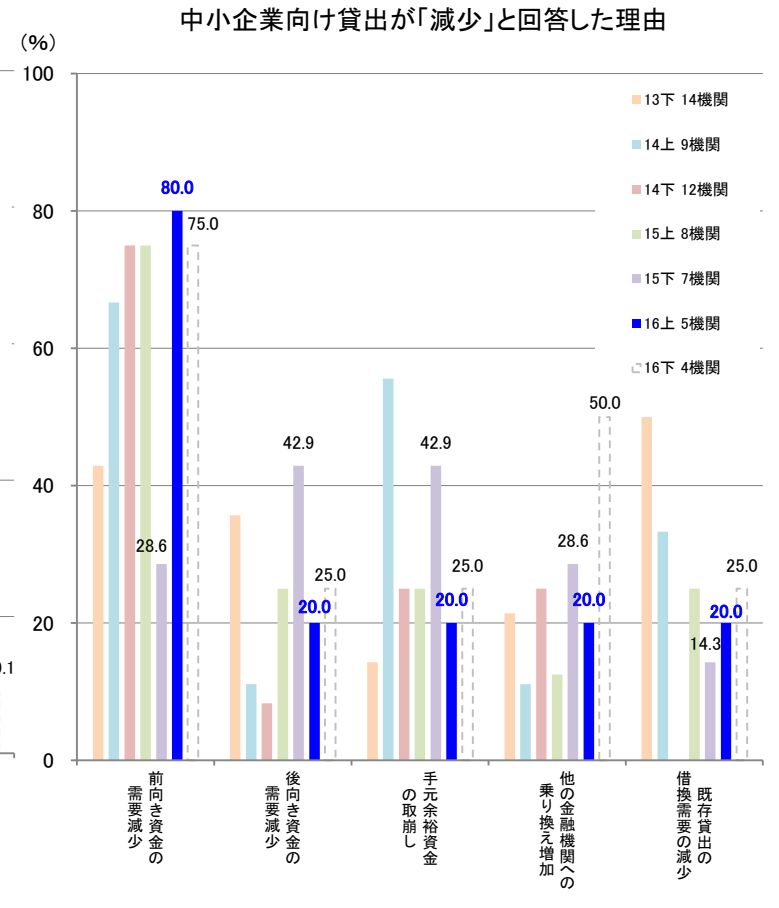
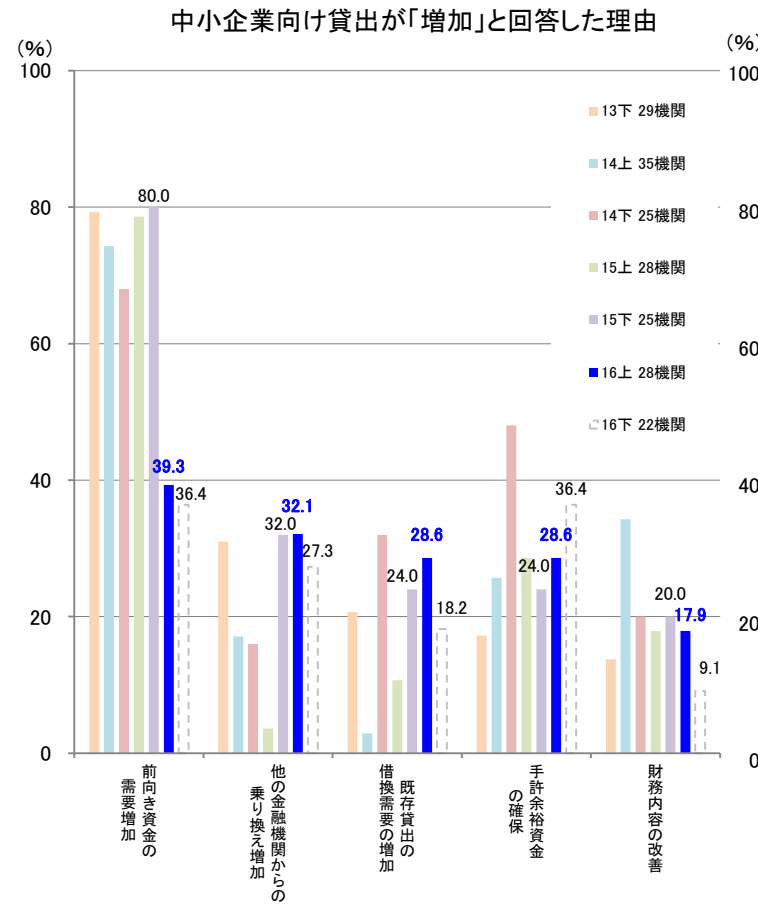
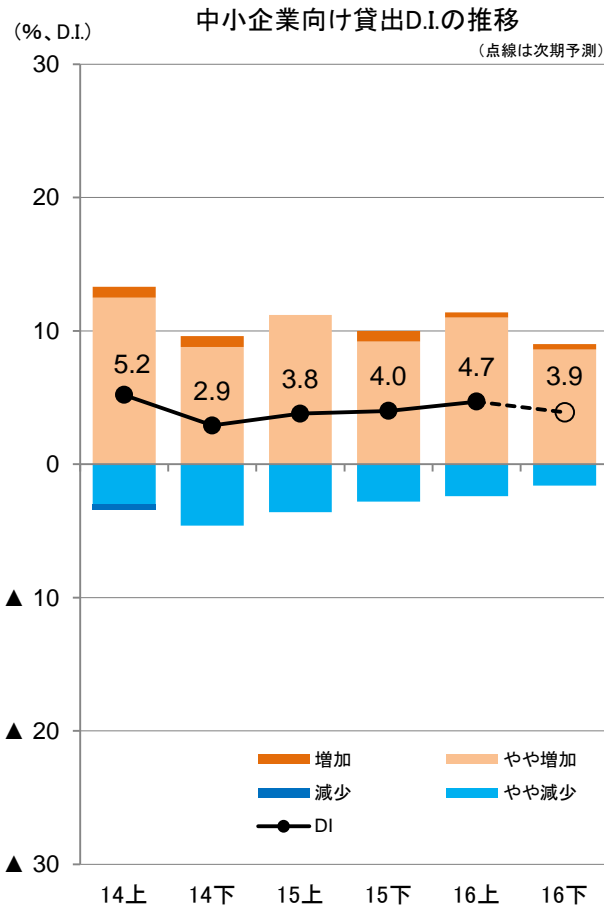
1. 中小企業向け貸出の動向について

2016年度上期において中小企業向け貸出が「増加」または「減少」と回答した金融機関に、その理由について尋ねた。

【増加理由】・2013年度上期以降、「前向き資金の需要増加」が7期連続で最多となったが、前期に比べて大幅に減少。

【減少理由】・「前向き資金の需要減少」が最多(5機関のうち、4機関が回答)。

● 中小企業向け貸出D.I.の推移及び増減理由



※回答率(%)は、「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。

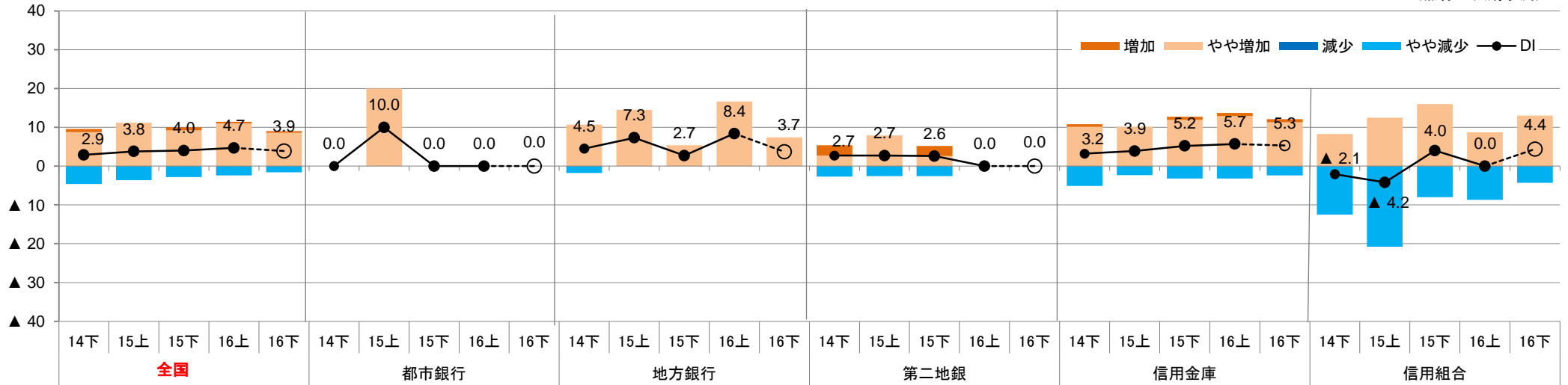
定例調査

1. 中小企業向け貸出の動向について(つづき)

●中小企業向け貸出D.I.の推移(金融機関業態別)

(%、D.I.)

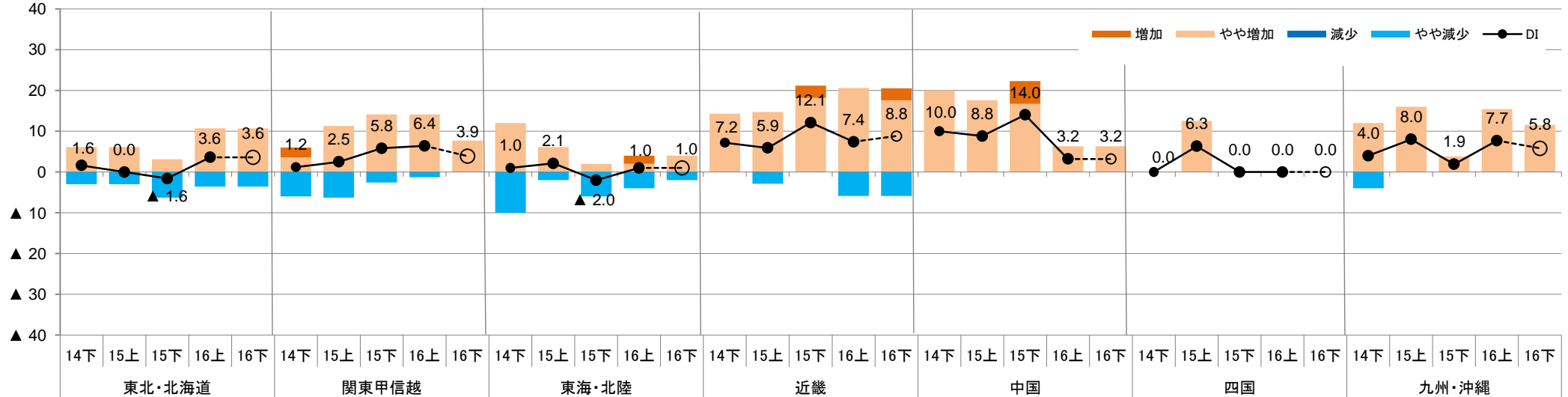
(点線は次期予測)



●中小企業向け貸出D.I.の推移(地域別)

(%、D.I.)

(点線は次期予測)

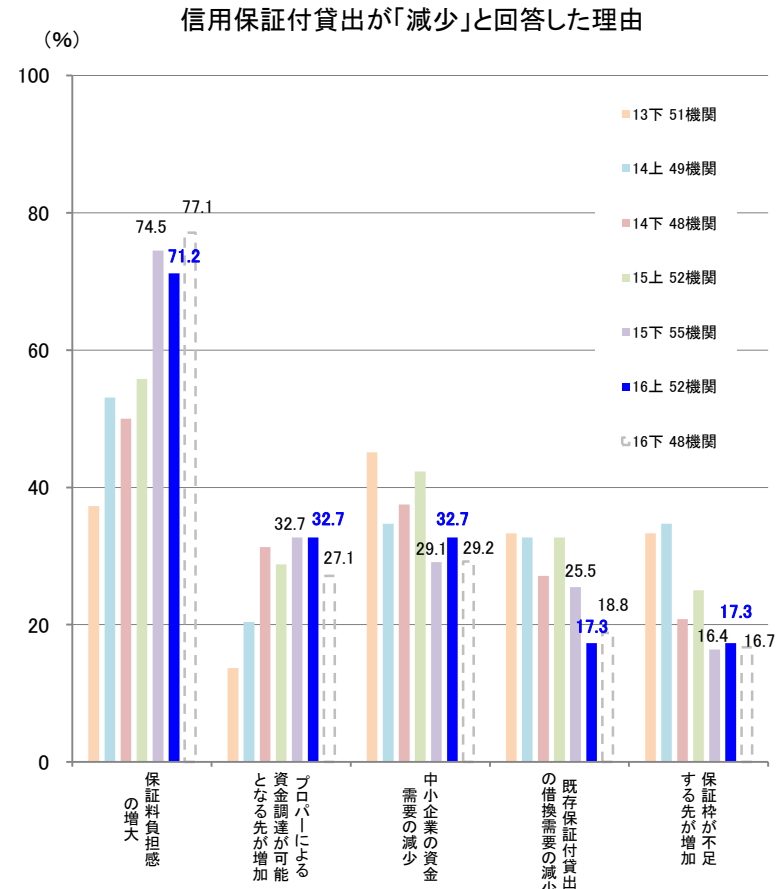
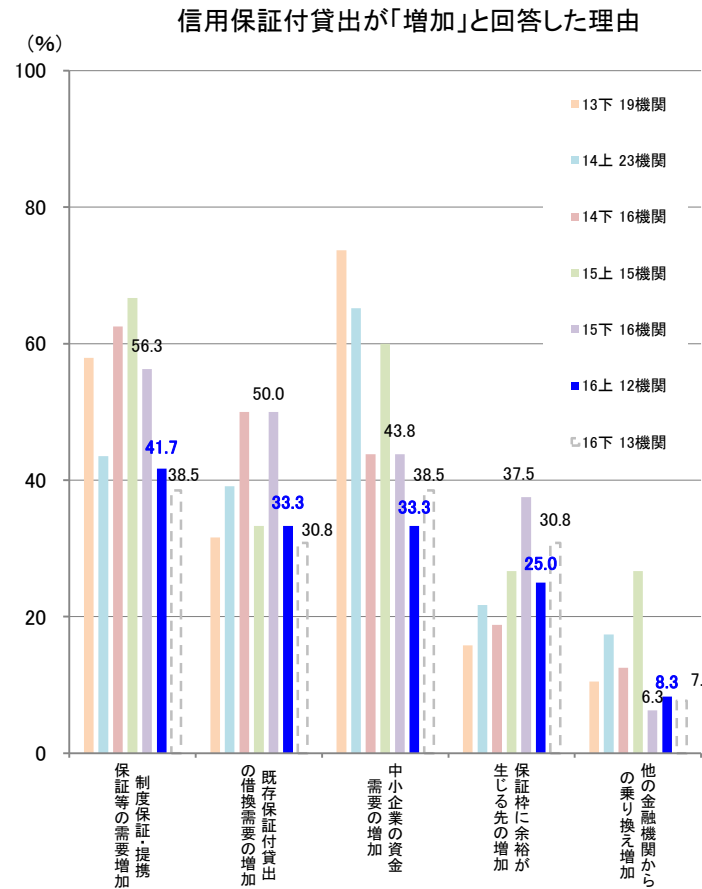
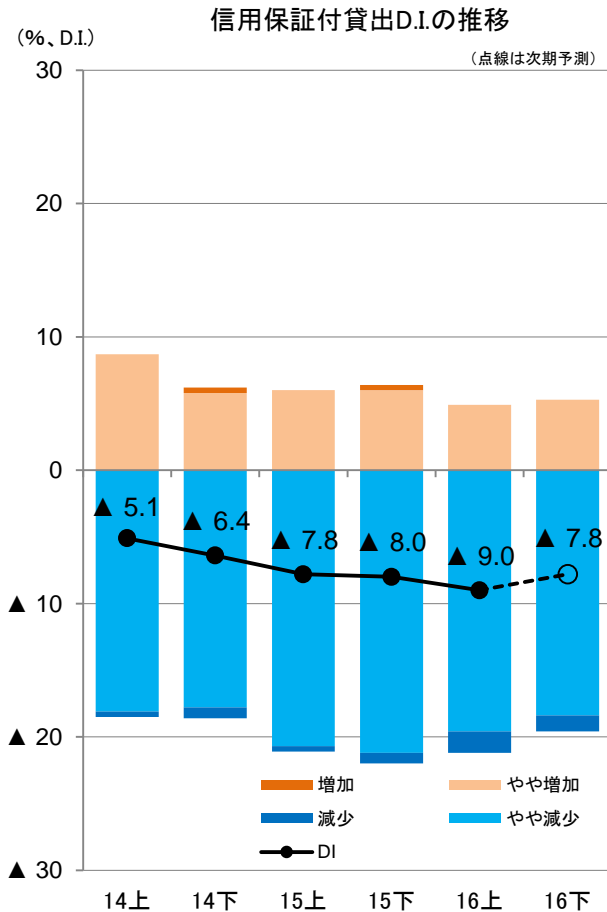


2. 信用保証付貸出の動向について

2016年度上期における信用保証付貸出が「増加」または「減少」と回答した金融機関に、その理由について尋ねた。

【増加理由】・「制度保証・提携保証等の需要増加」が最多(12機関のうち、5機関が回答)。
 次いで「既存保証付貸出の借換需要増加」、「中小企業の資金需要の増加」が続いている。
 【減少理由】・低金利下での保証料の割高感を反映し、2014年度上期以降、「保証料負担感の増大」が5期連続で最多。

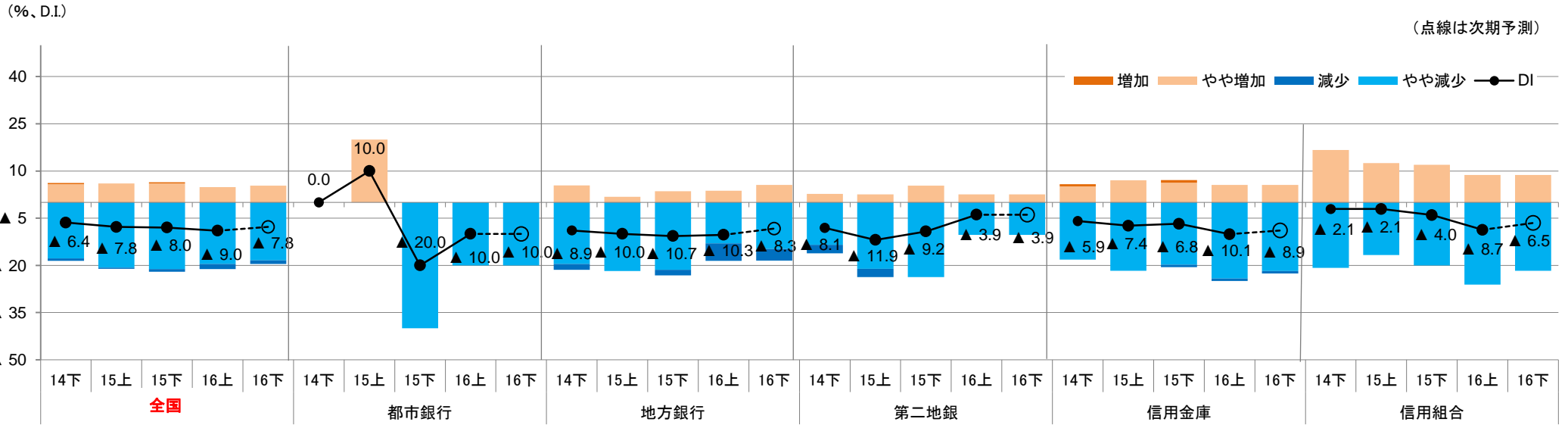
● 信用保証付貸出D.I.の推移及び増減理由



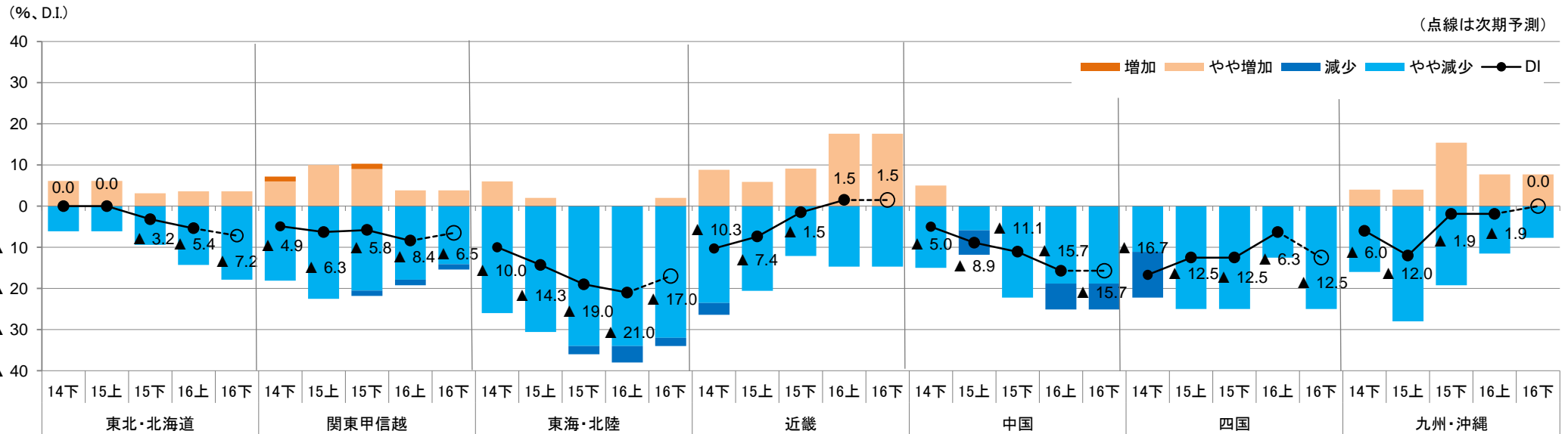
※回答率(%)は、「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。

2. 信用保証付貸出の動向について(つづき)

●信用保証付貸出D.I.の推移(金融機関業態別)



●信用保証付貸出D.I.の推移(地域別)



定例調査

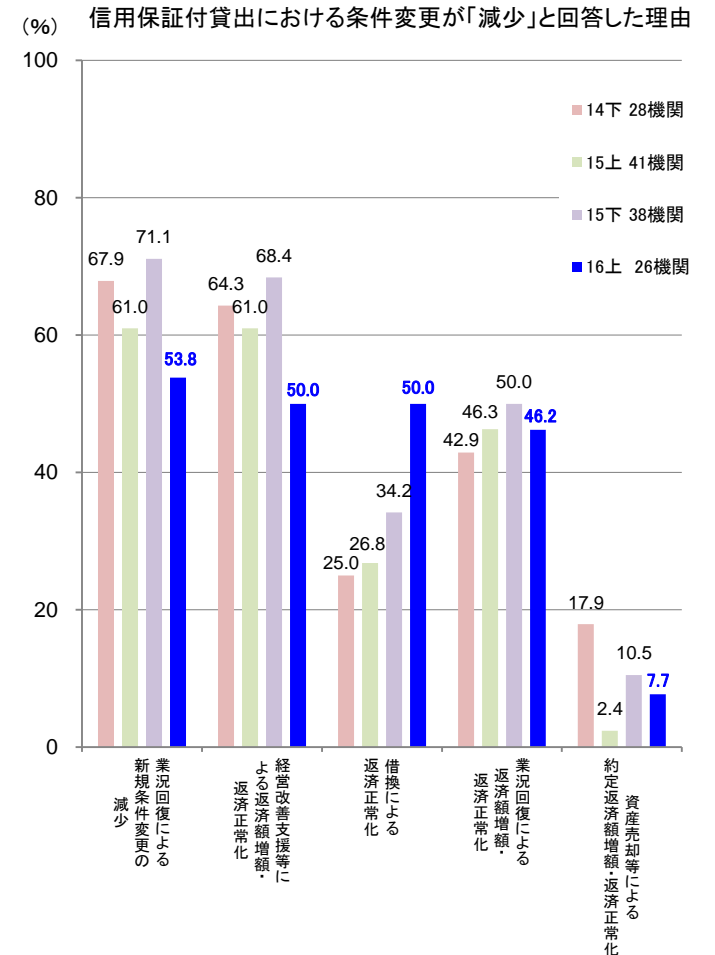
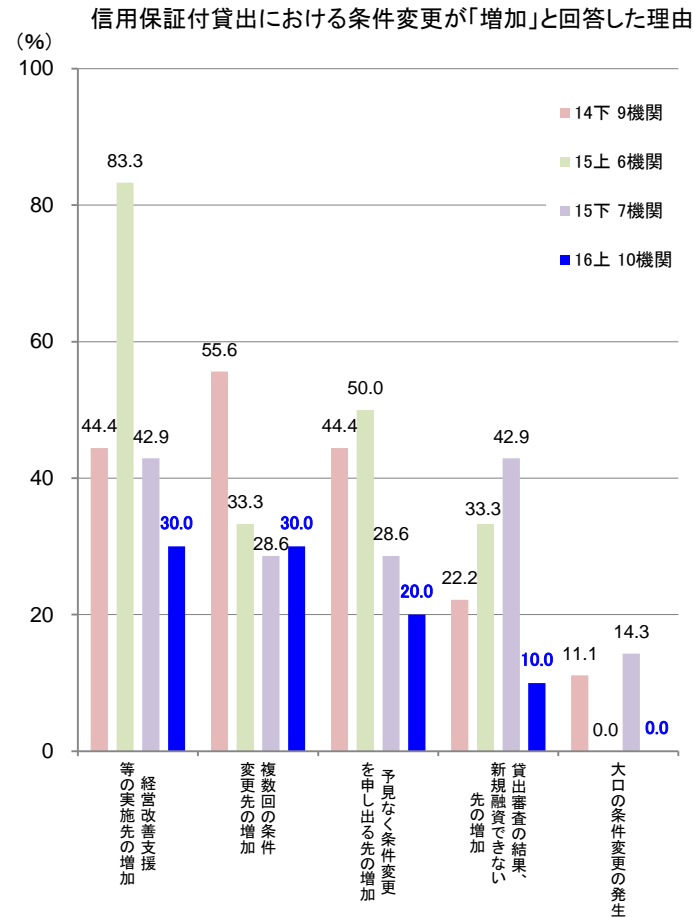
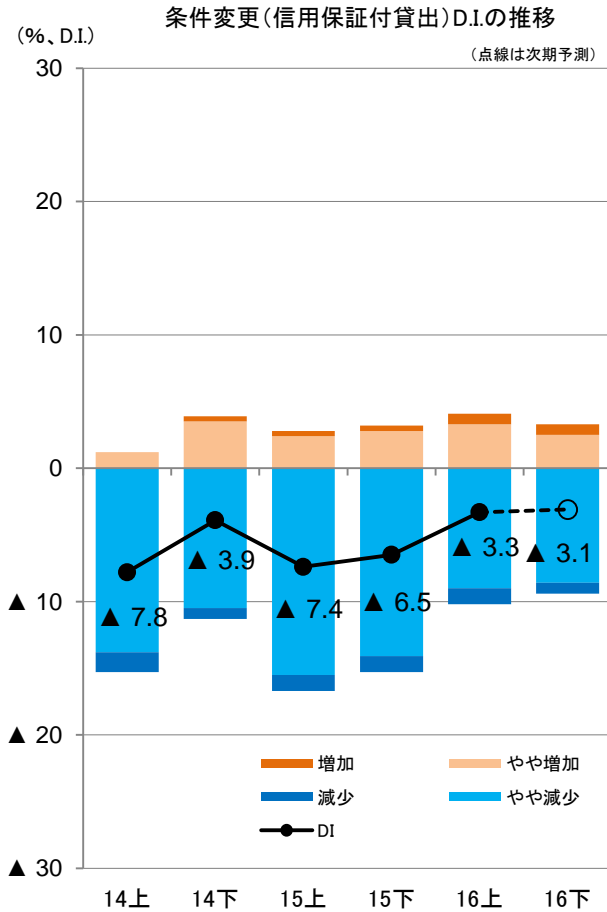
3. 信用保証付貸出における条件変更の動向について

2016年度上期における信用保証付貸出における条件変更が「増加」または「減少」と回答した金融機関に、その理由について尋ねた。

【増加理由】・「経営改善支援等の実施先の増加」及び「複数回の条件変更先の増加」が最多（10機関のうち、3機関ずつ計6機関が回答）。

【減少理由】・「業況回復による新規条件変更の減少」が4期連続で最多。

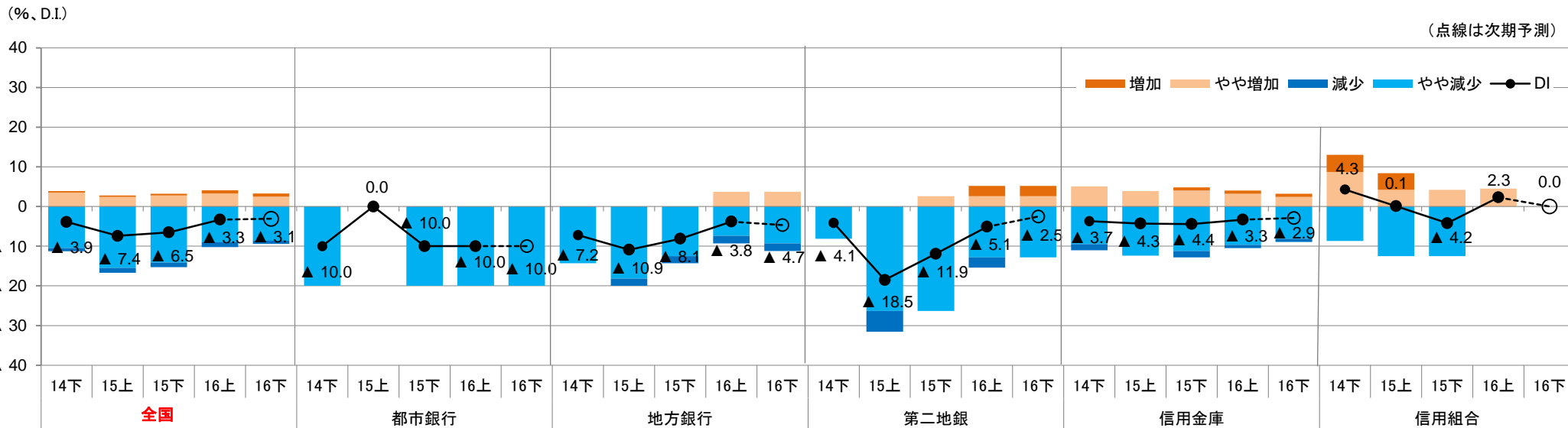
● 条件変更(信用保証付貸出)D.I.の推移及び増減理由



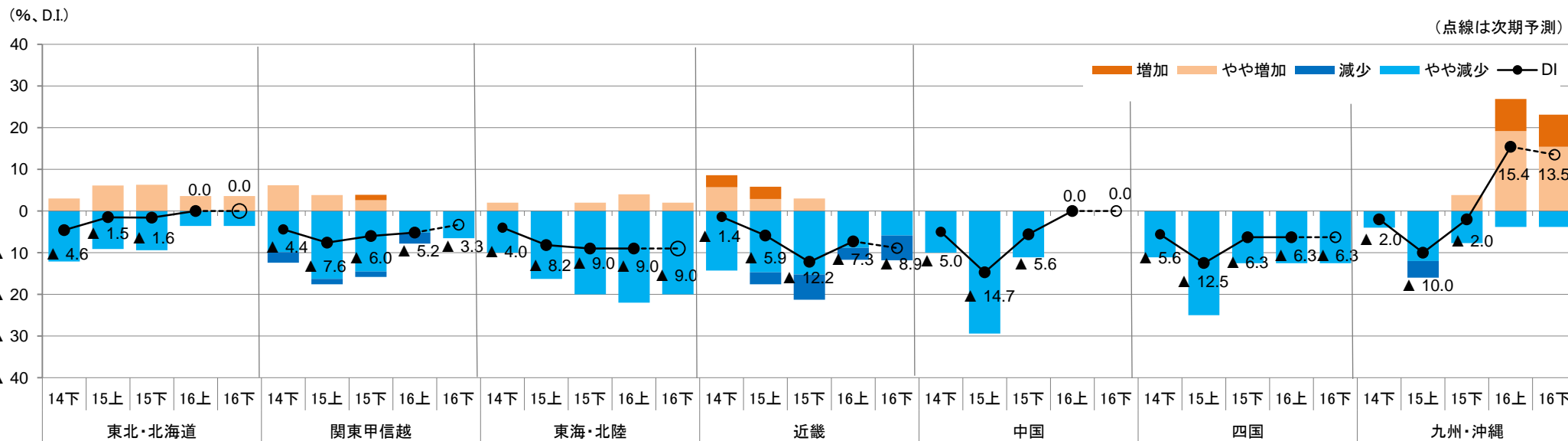
※回答率(%)は、「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。

3. 信用保証付貸出における条件変更の動向について(つづき)

●条件変更(信用保証付貸出)D.I.の推移(金融機関業態別)



●条件変更(信用保証付貸出)D.I.の推移(地域別)



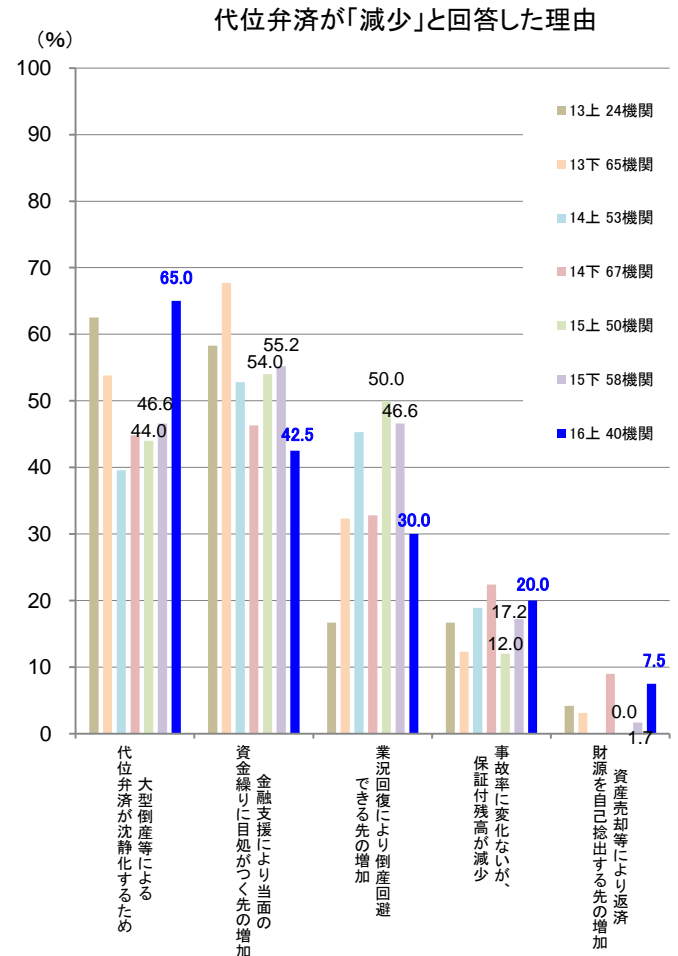
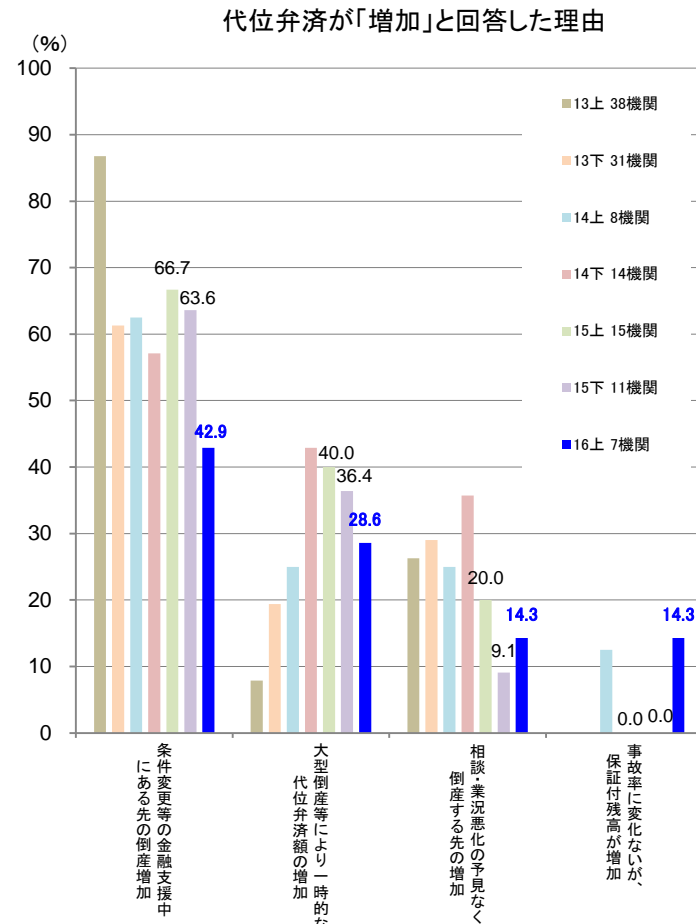
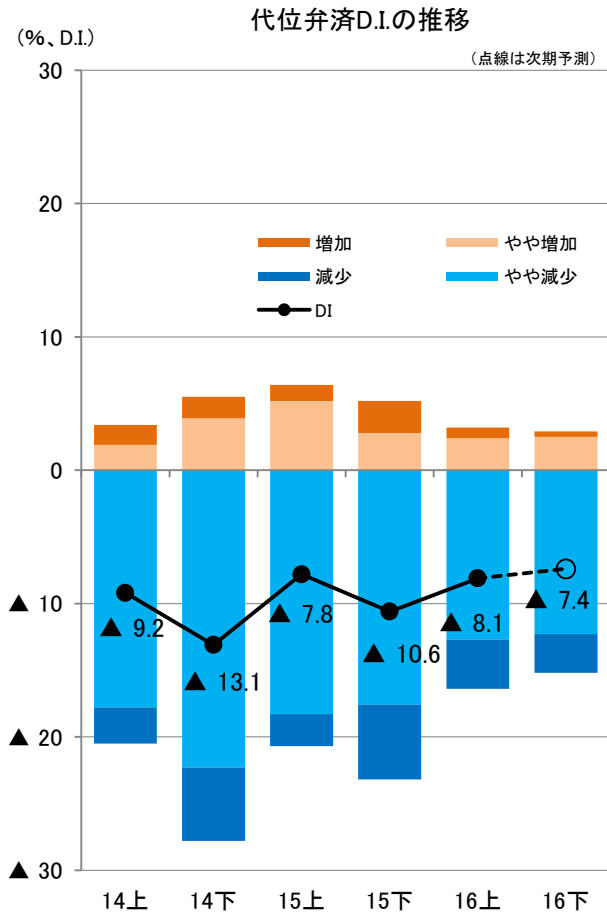
4. 金融機関から信用保証協会への代位弁済請求の動向について

2016年度上期における金融機関から信用保証協会への代位弁済請求が「増加」または「減少」と回答した金融機関に、その理由について尋ねた。

【増加理由】・「条件変更等の金融支援中にある先の倒産増加」が最多(7機関のうち、3機関が回答)。

【減少理由】・「大型倒産等による代位弁済が沈静化するため」が最多。次いで「金融支援により当面の資金繰りに目処がつく先の増加」、「業況回復により倒産回避できる先の増加」が続いている。

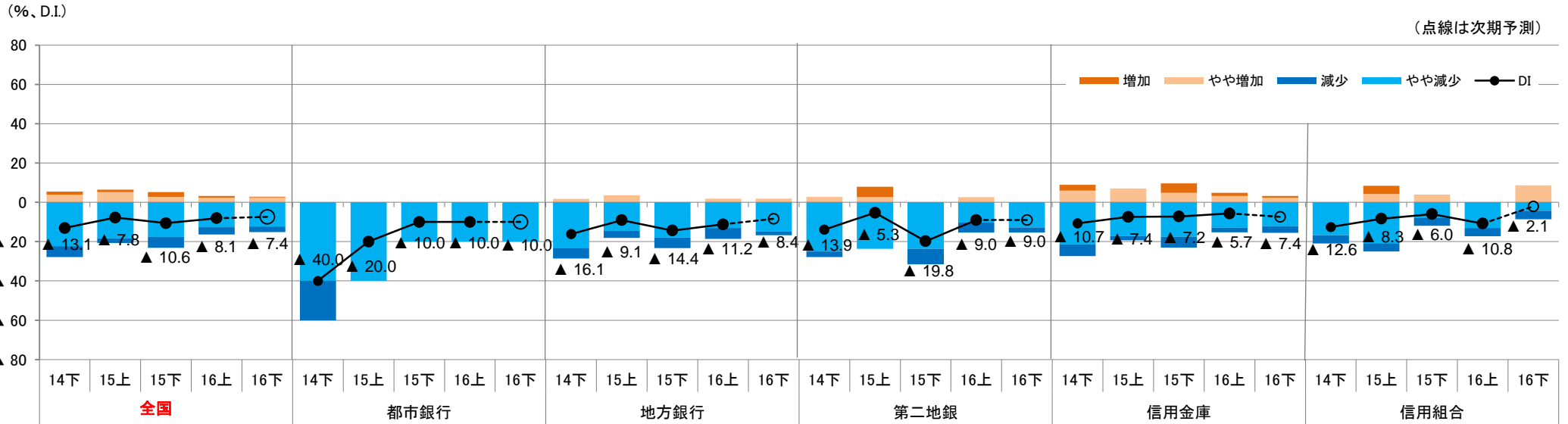
● 代位弁済D.I.の推移及び増減理由



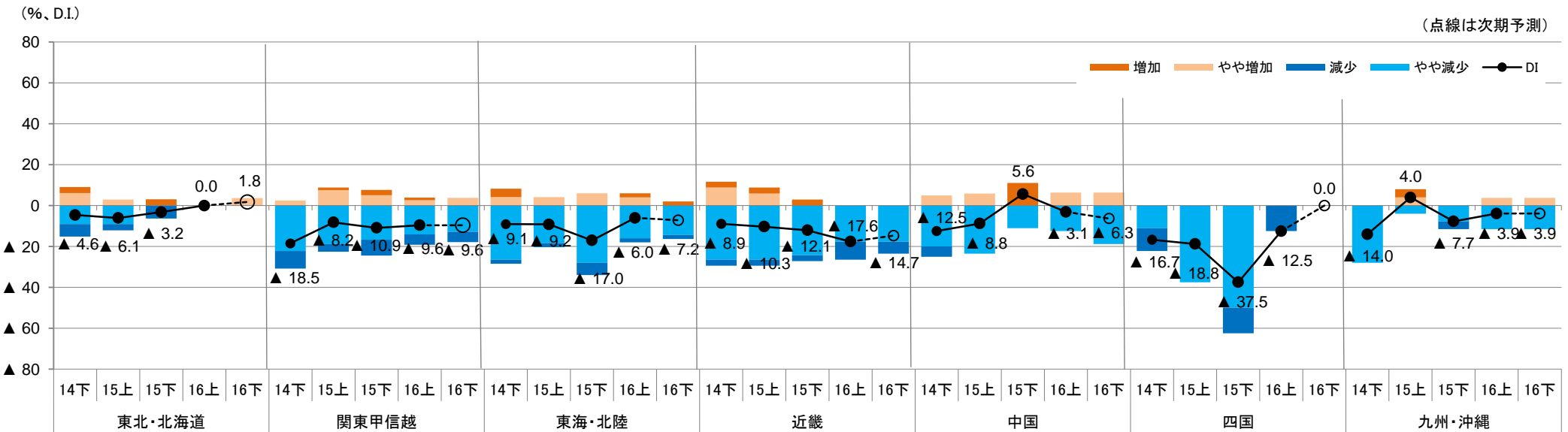
※回答率(%)は、「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。

4. 金融機関から信用保証協会への代位弁済請求の動向について(つづき)

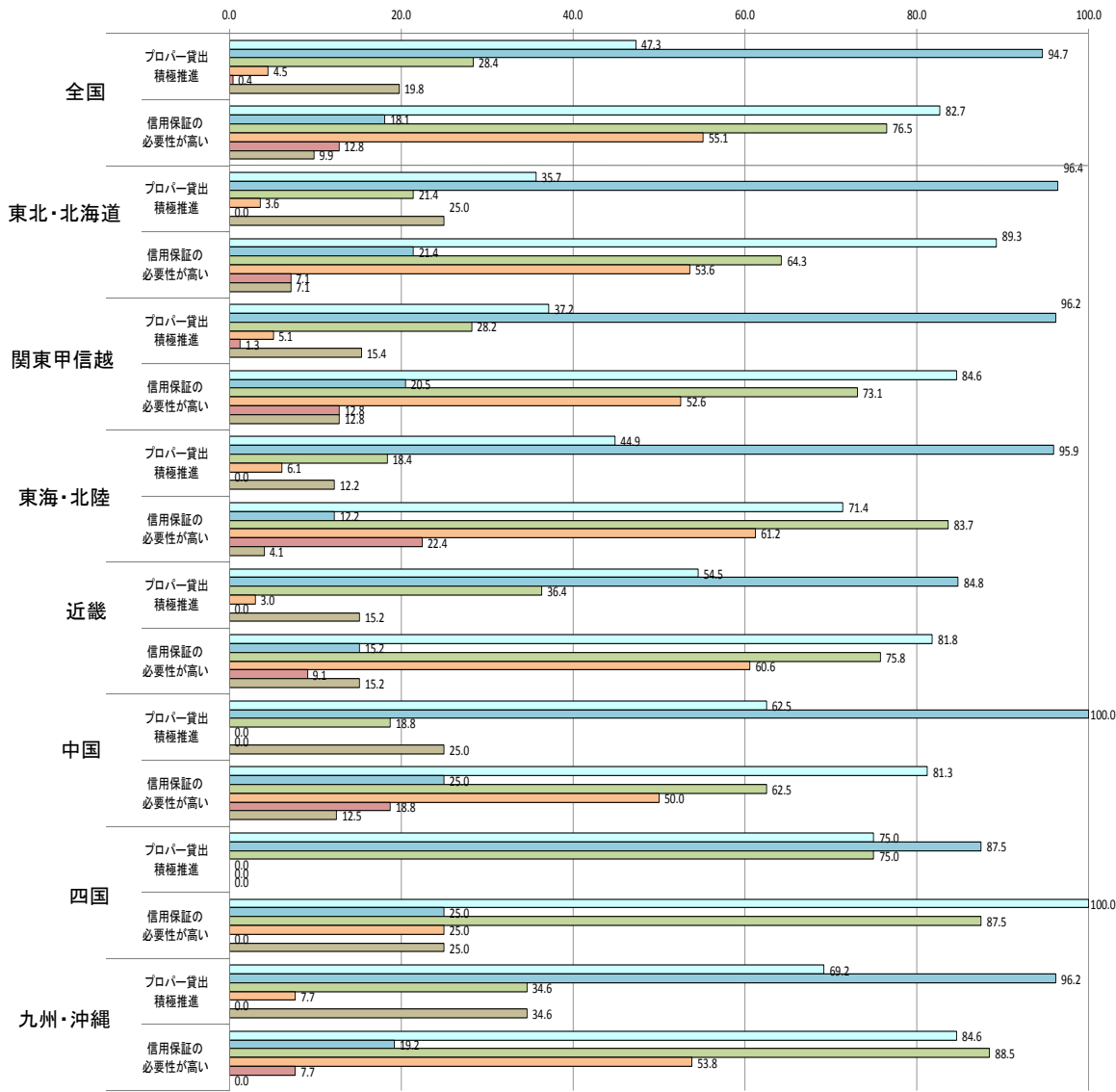
●代位弁済D.I.の推移(金融機関業態別)



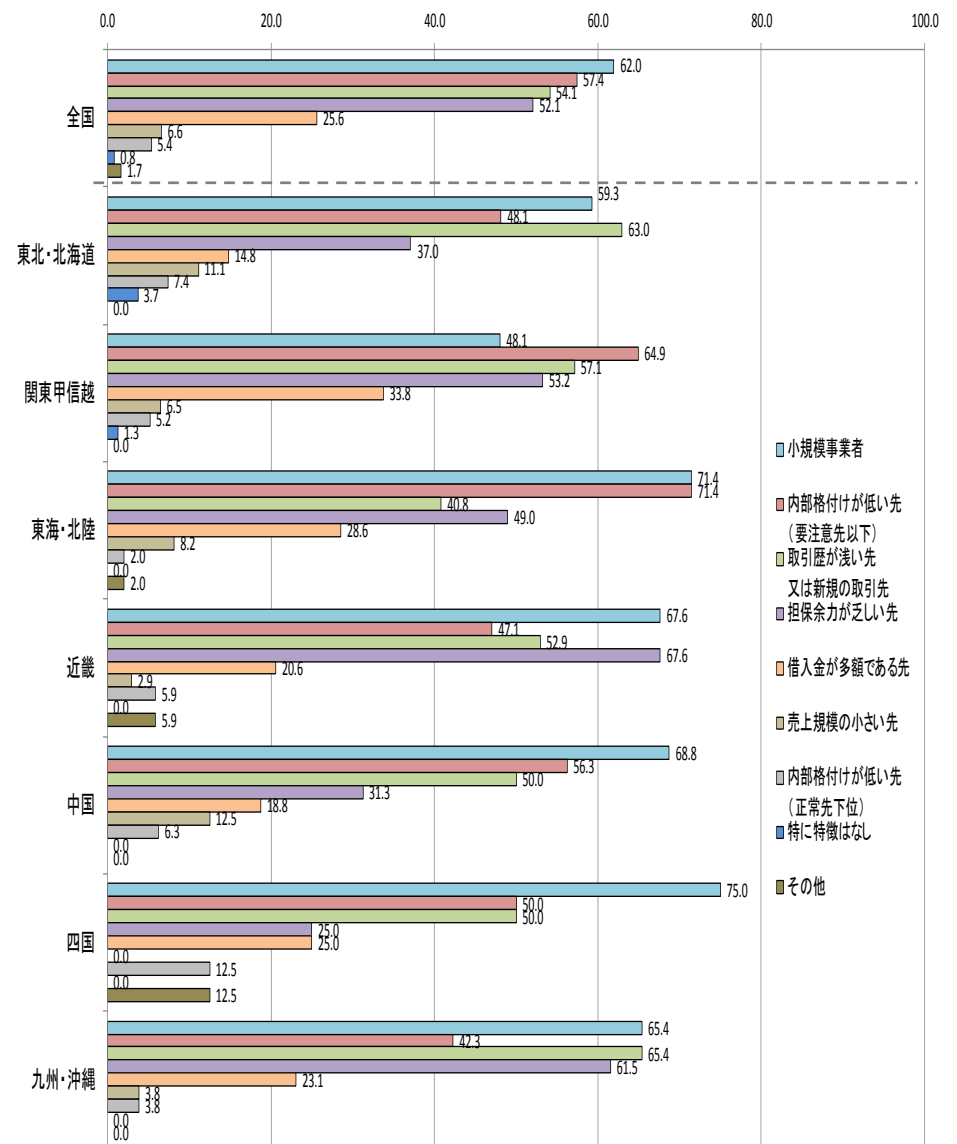
●代位弁済D.I.の推移(地域別)



「プロパー貸出の推進」と「信用保証の必要性」の比較(ライフステージ別)(地域別) (%)



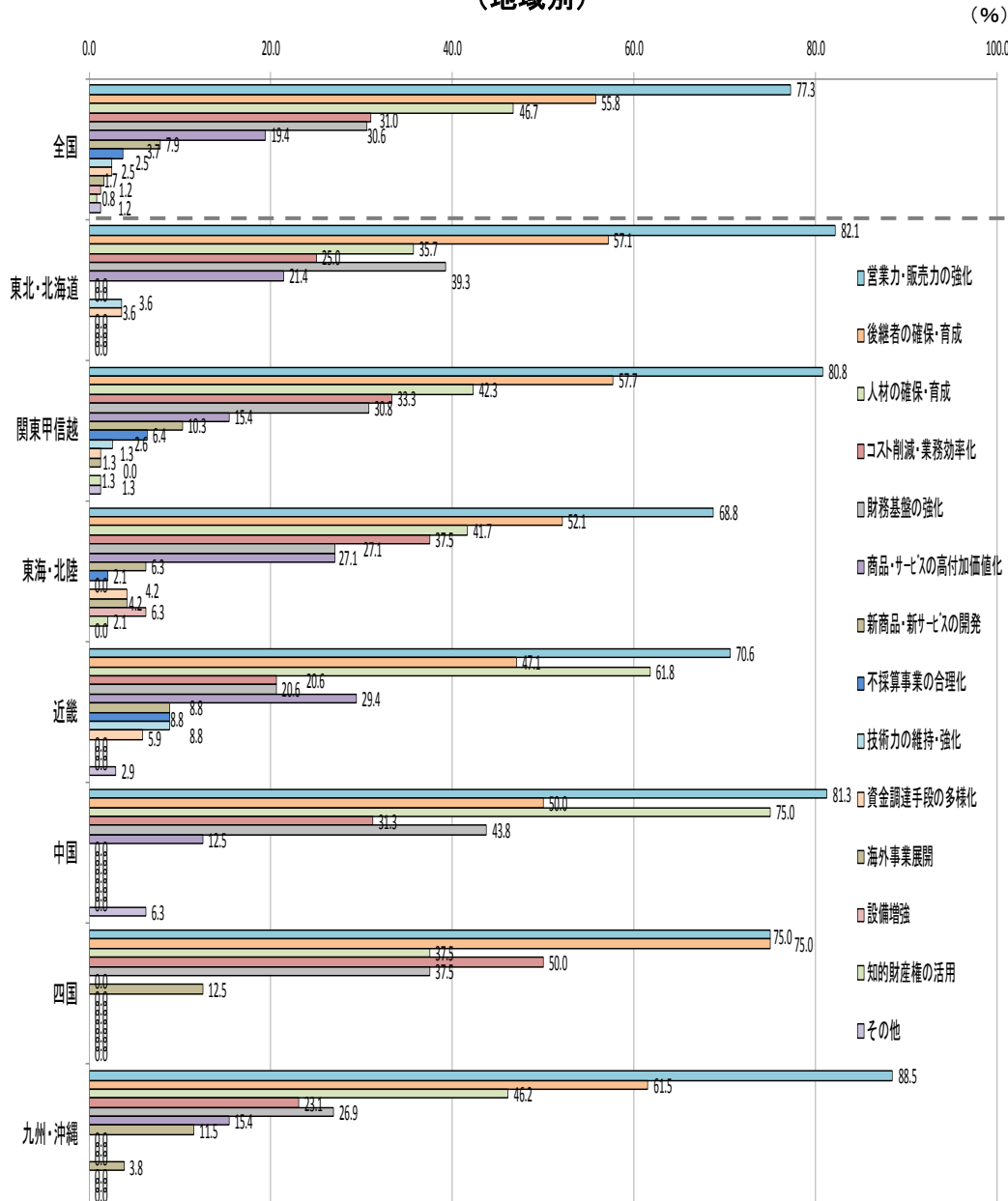
信用保証の必要性が高い企業の特徴(地域別) (%)



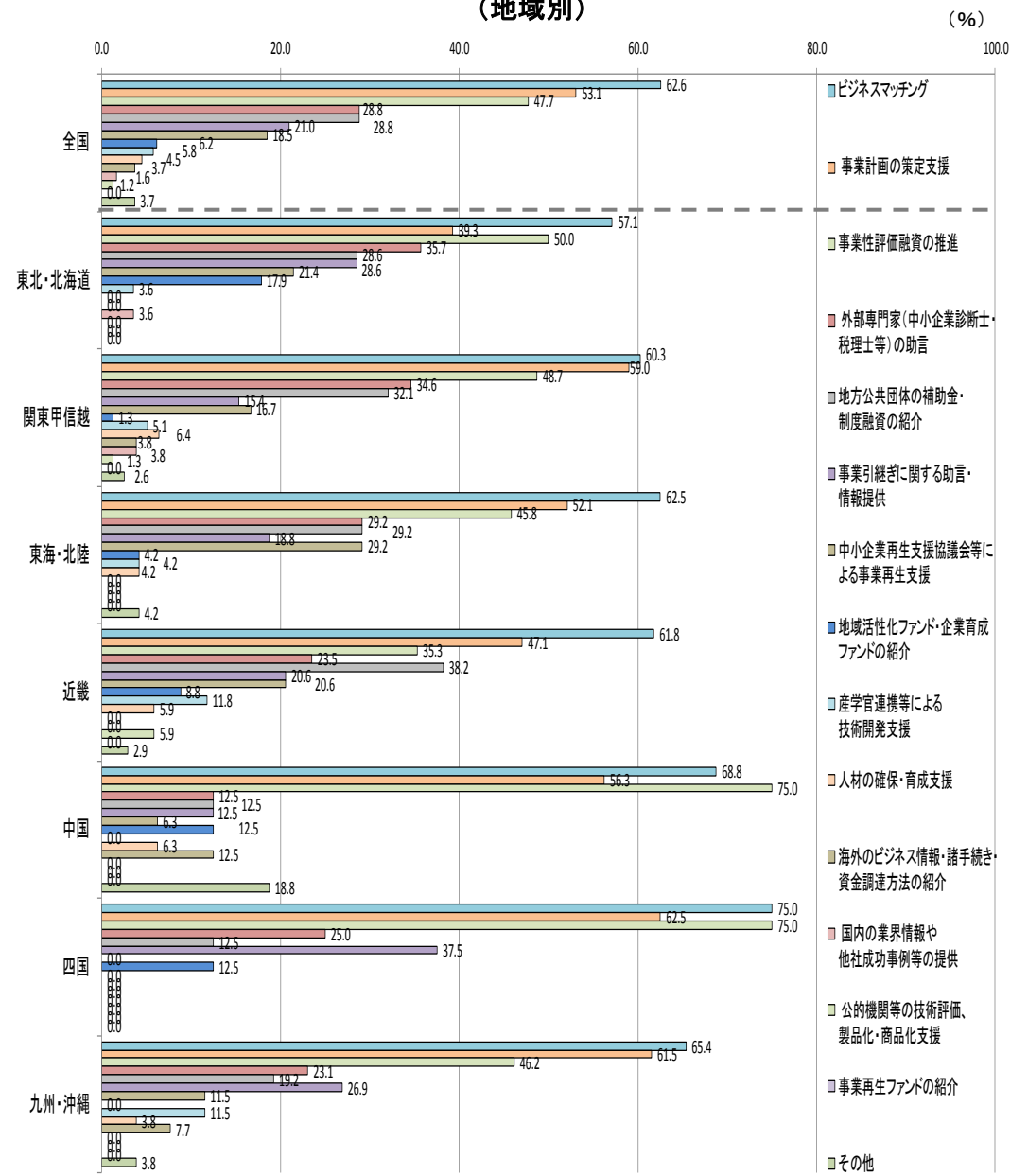
- 創業・新事業開拓を目指す企業
- 成長段階におけるさらなる飛躍が見込まれる企業
- 経営改善が必要な企業
- 事業再生や業種転換が必要な企業
- 事業の持続可能性が見込まれない企業
- 事業承継が必要な企業

※回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

貸出先が抱える経営課題
(地域別)

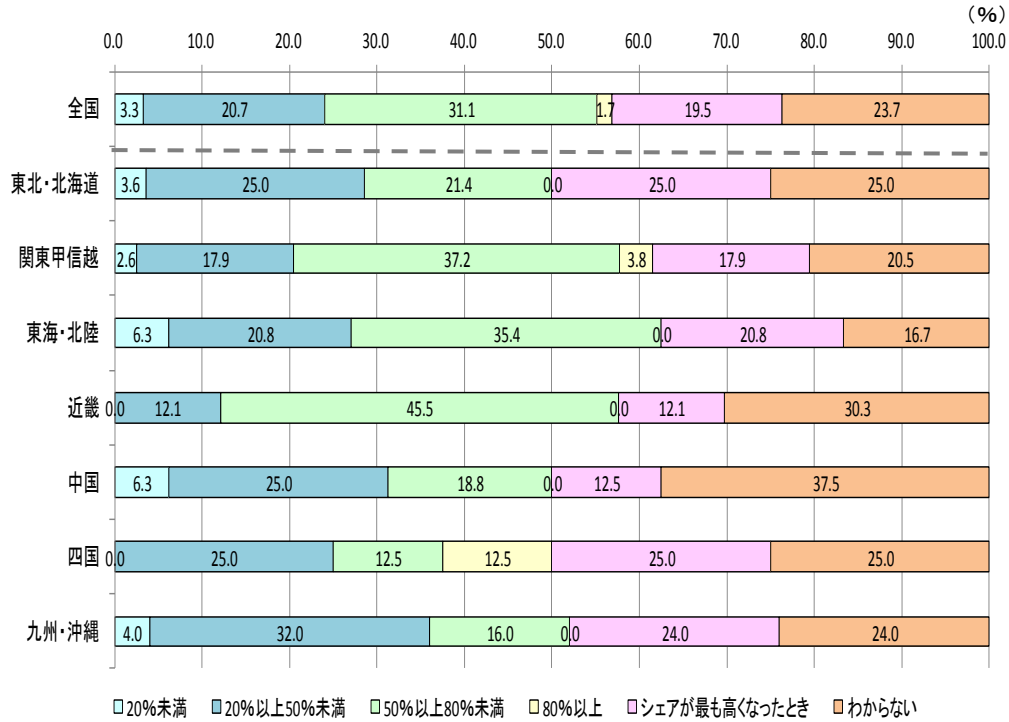


貸出先のライフステージに応じた金融機関の積極的な取組み
(地域別)

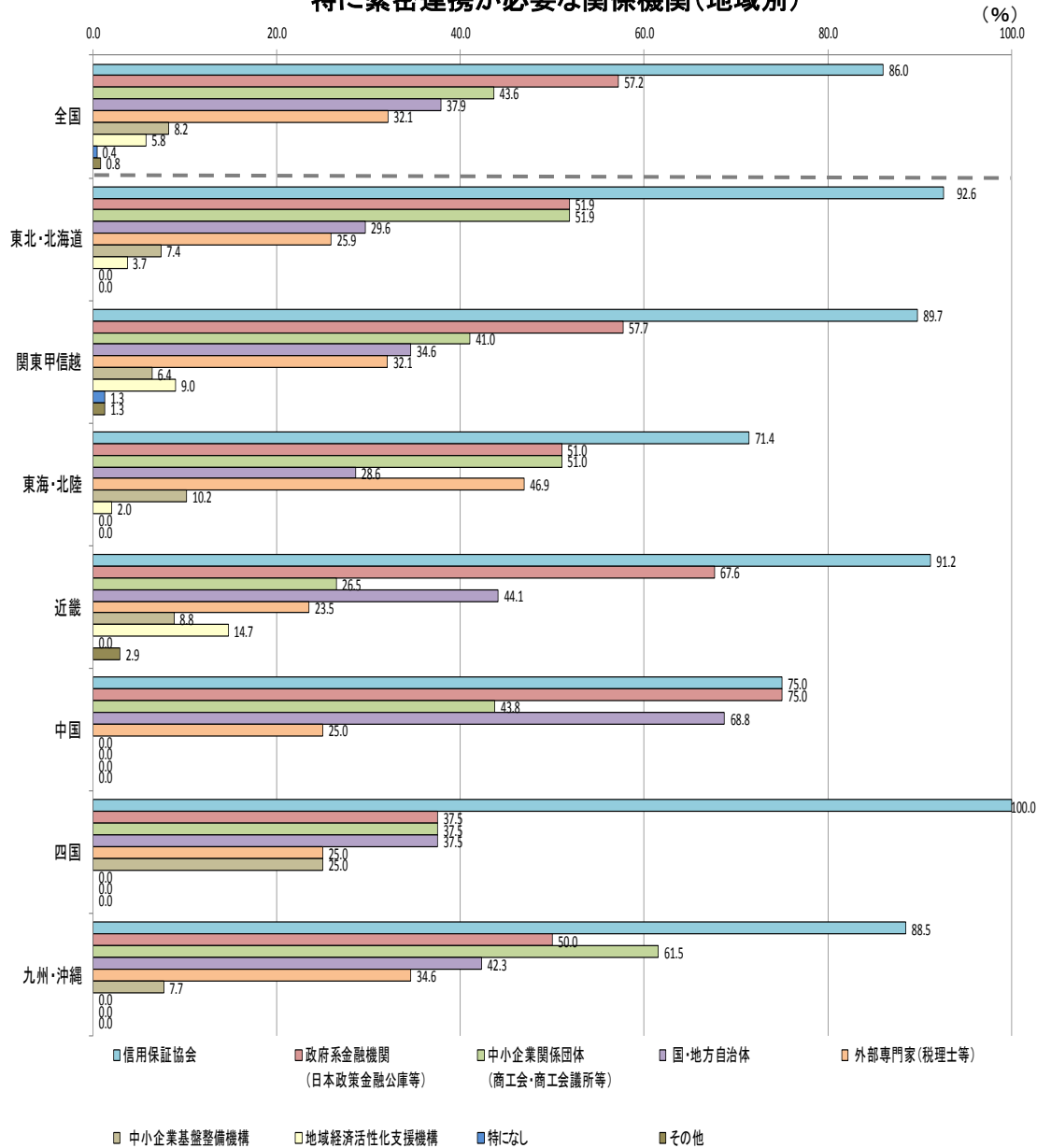


※回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

経営支援等を積極的に検討するようになる総借入残高に占めるシェア
(地域別)

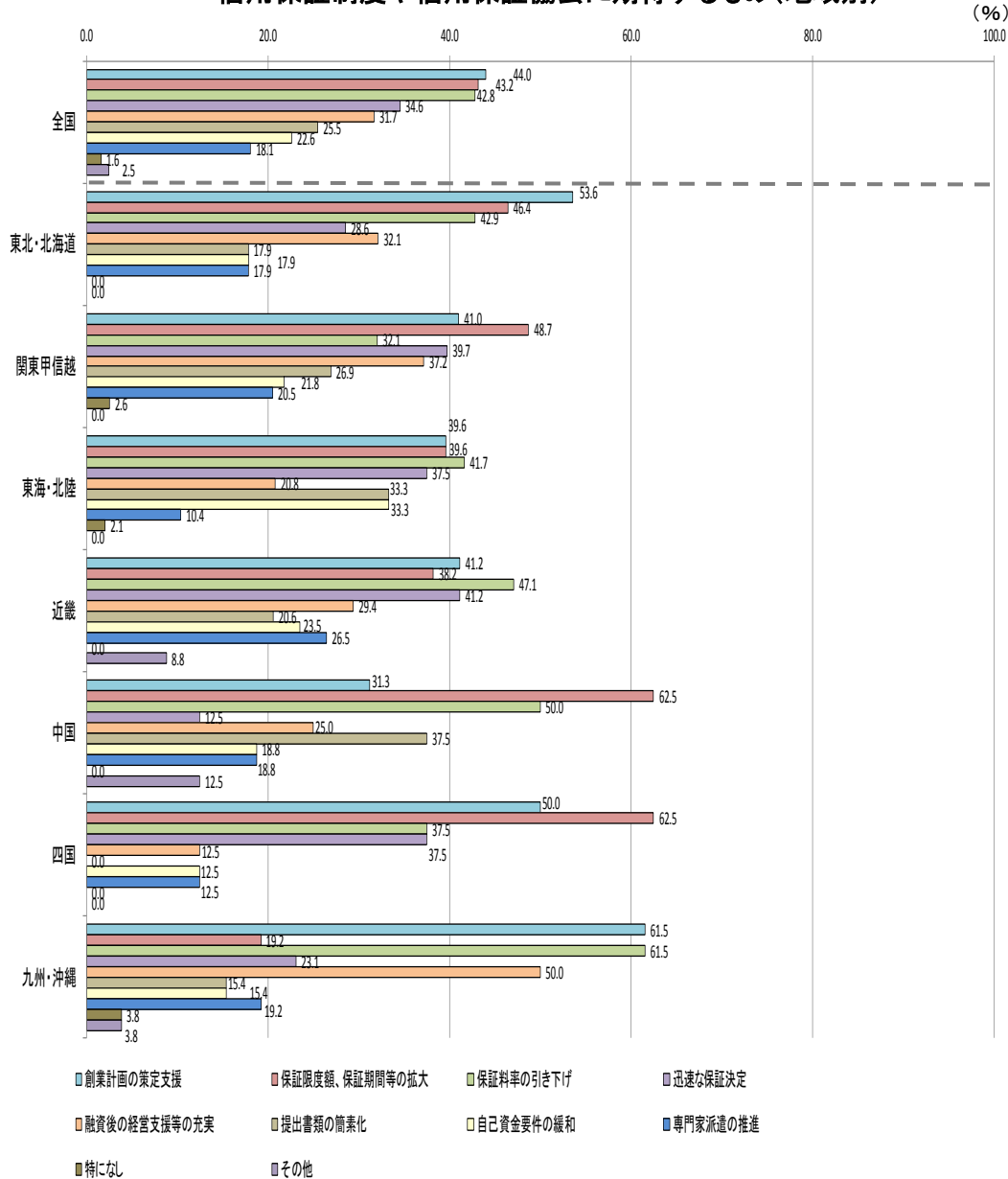


「創業・新事業開拓を目指す企業」を積極的に支援するために、特に緊密連携が必要な関係機関(地域別)

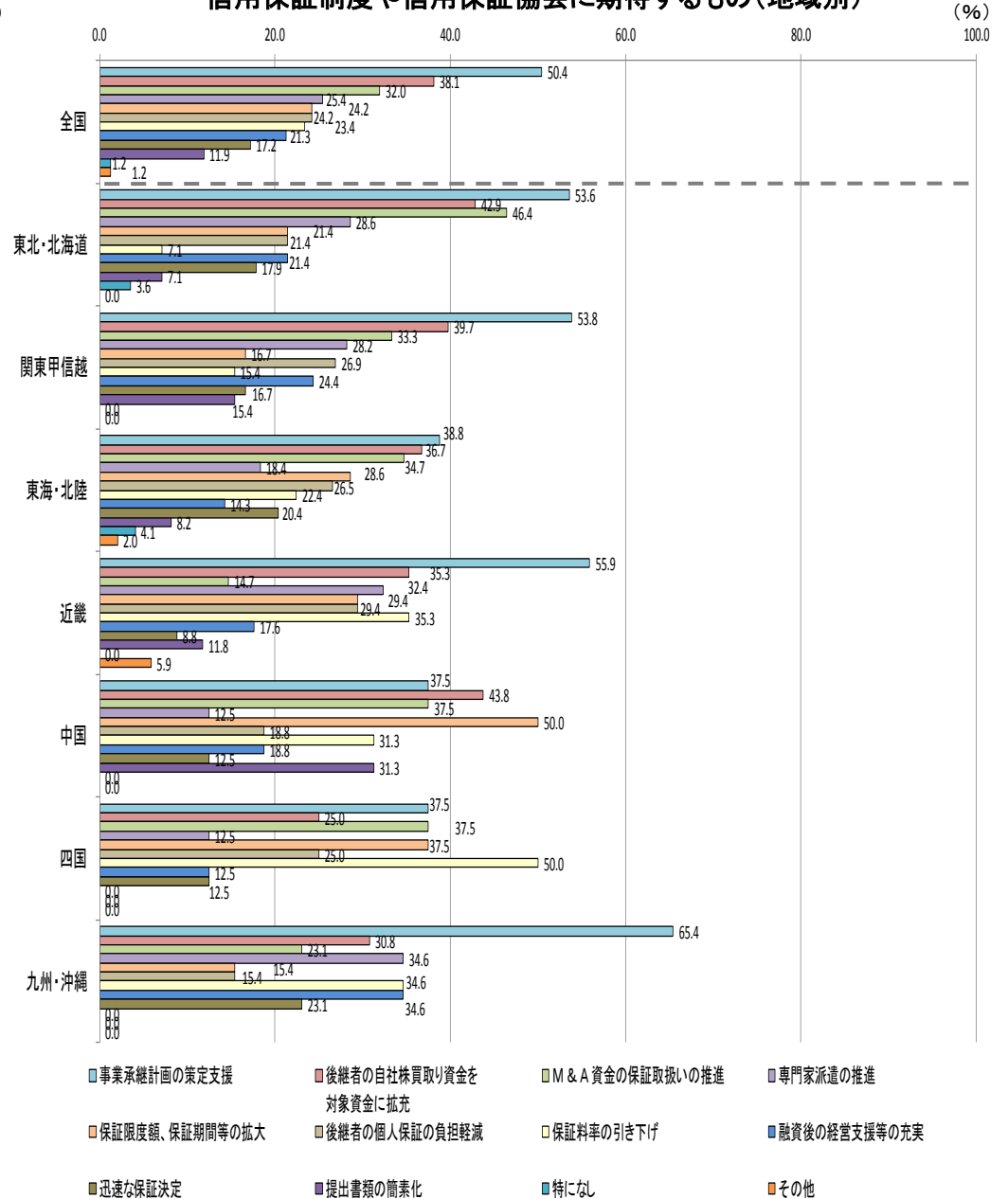


※回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

「創業・新事業開拓を目指す企業」を積極的に支援するために、
信用保証制度や信用保証協会に期待するもの(地域別)

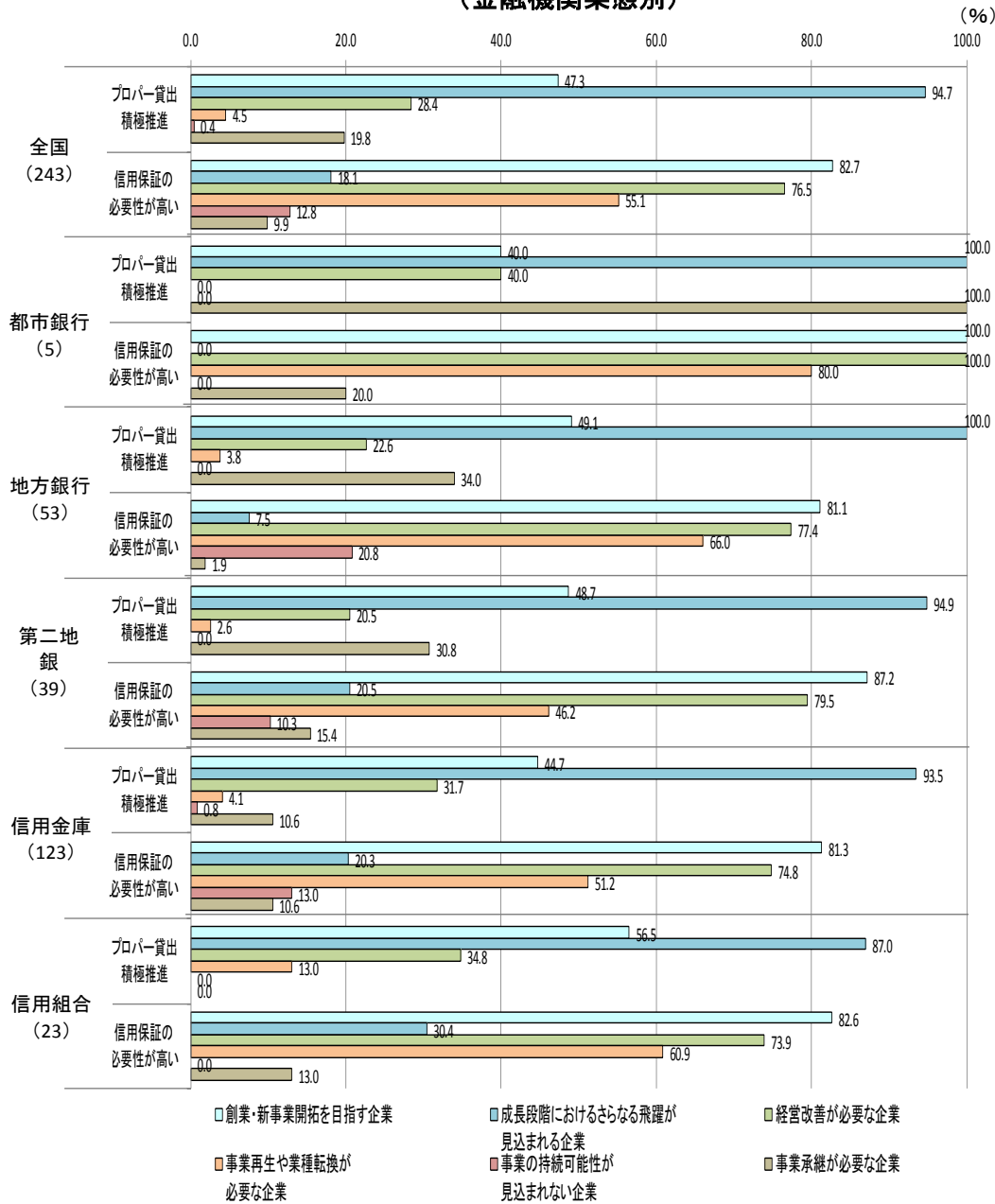


「事業承継が必要な企業」を積極的に支援するために、
信用保証制度や信用保証協会に期待するもの(地域別)

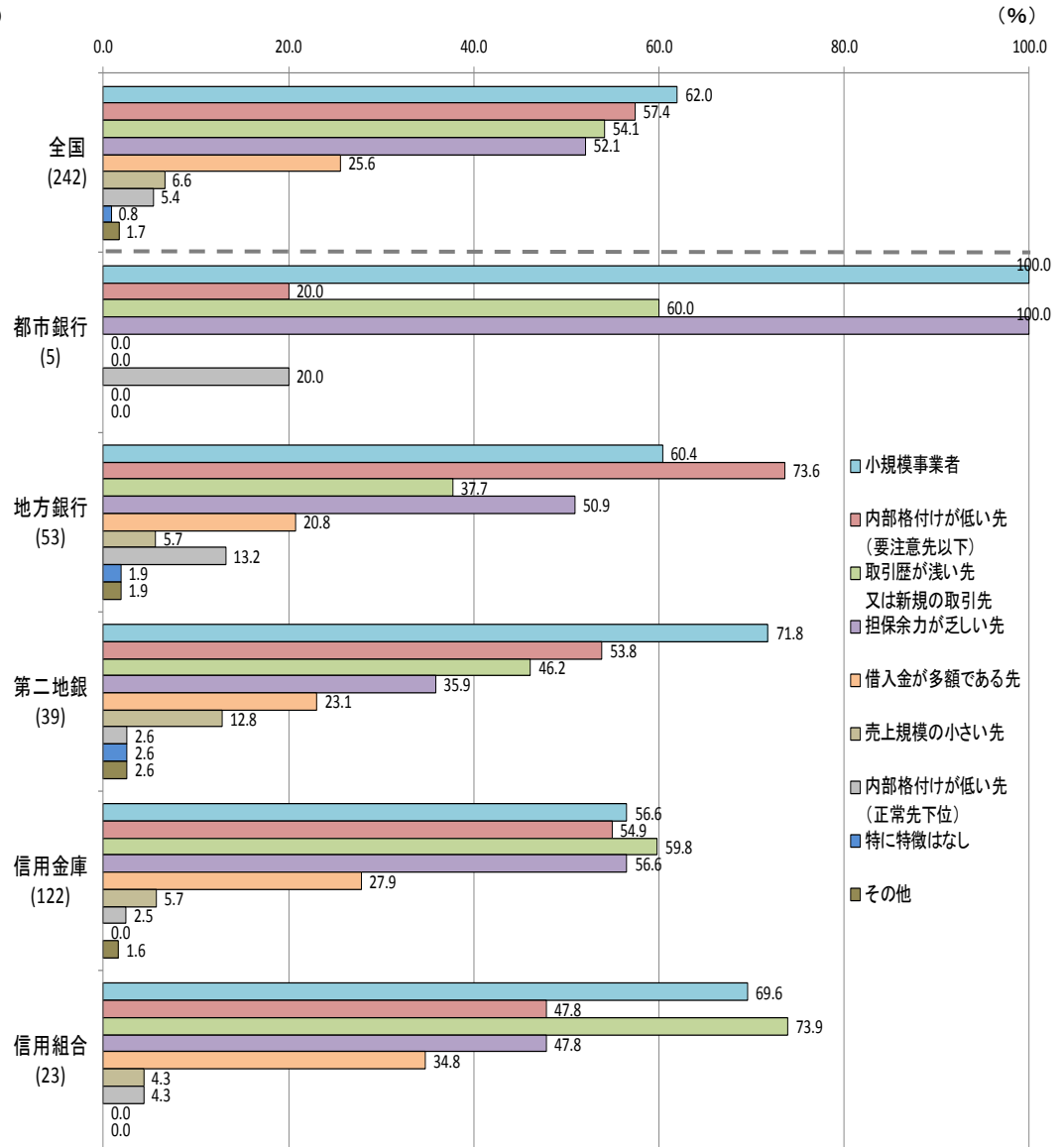


※回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

「プロパー貸出の推進」と「信用保証の必要性」の比較(ライフステージ別)
(金融機関業態別)



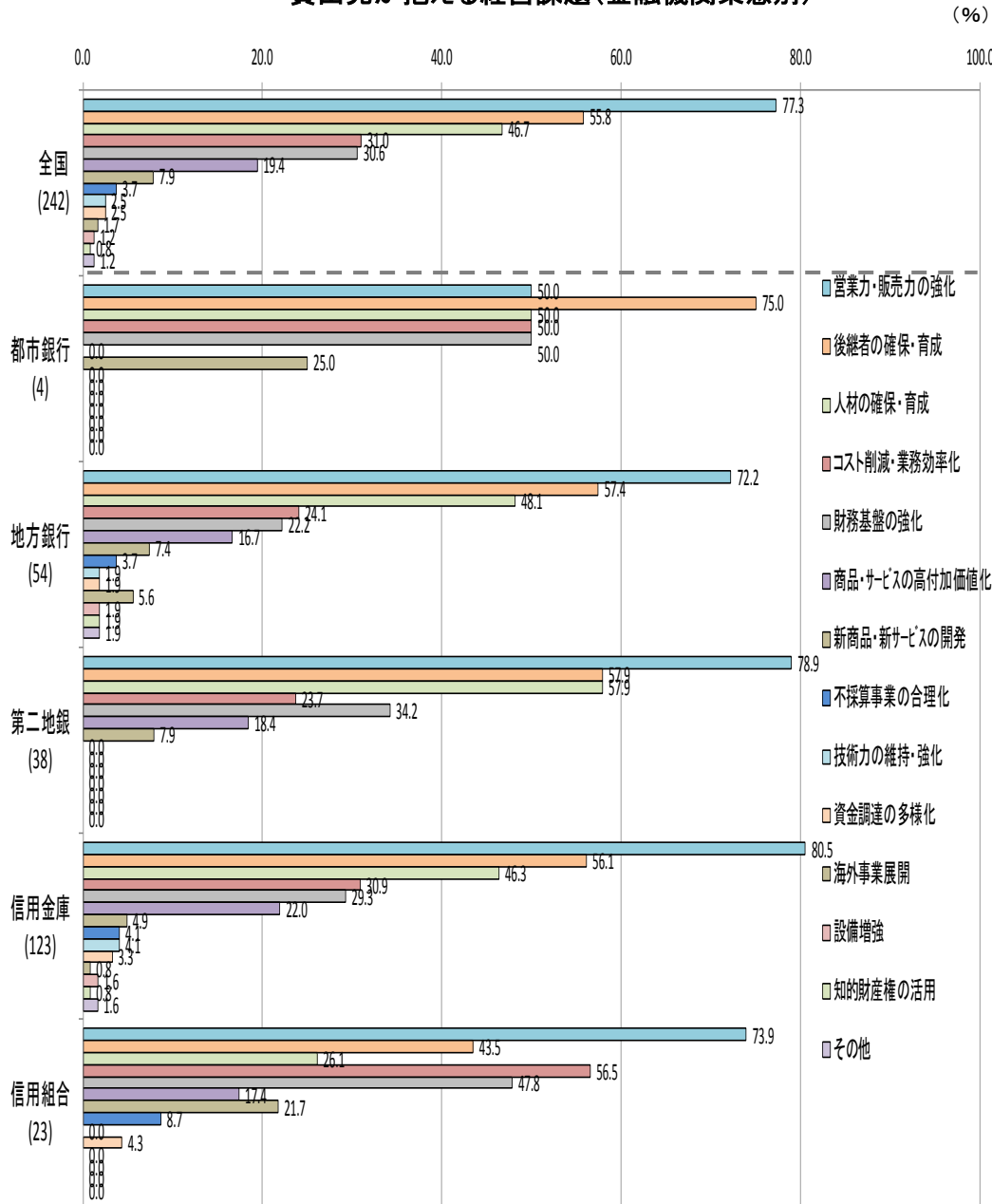
信用保証の必要性が高い企業の特徴(金融機関業態別)



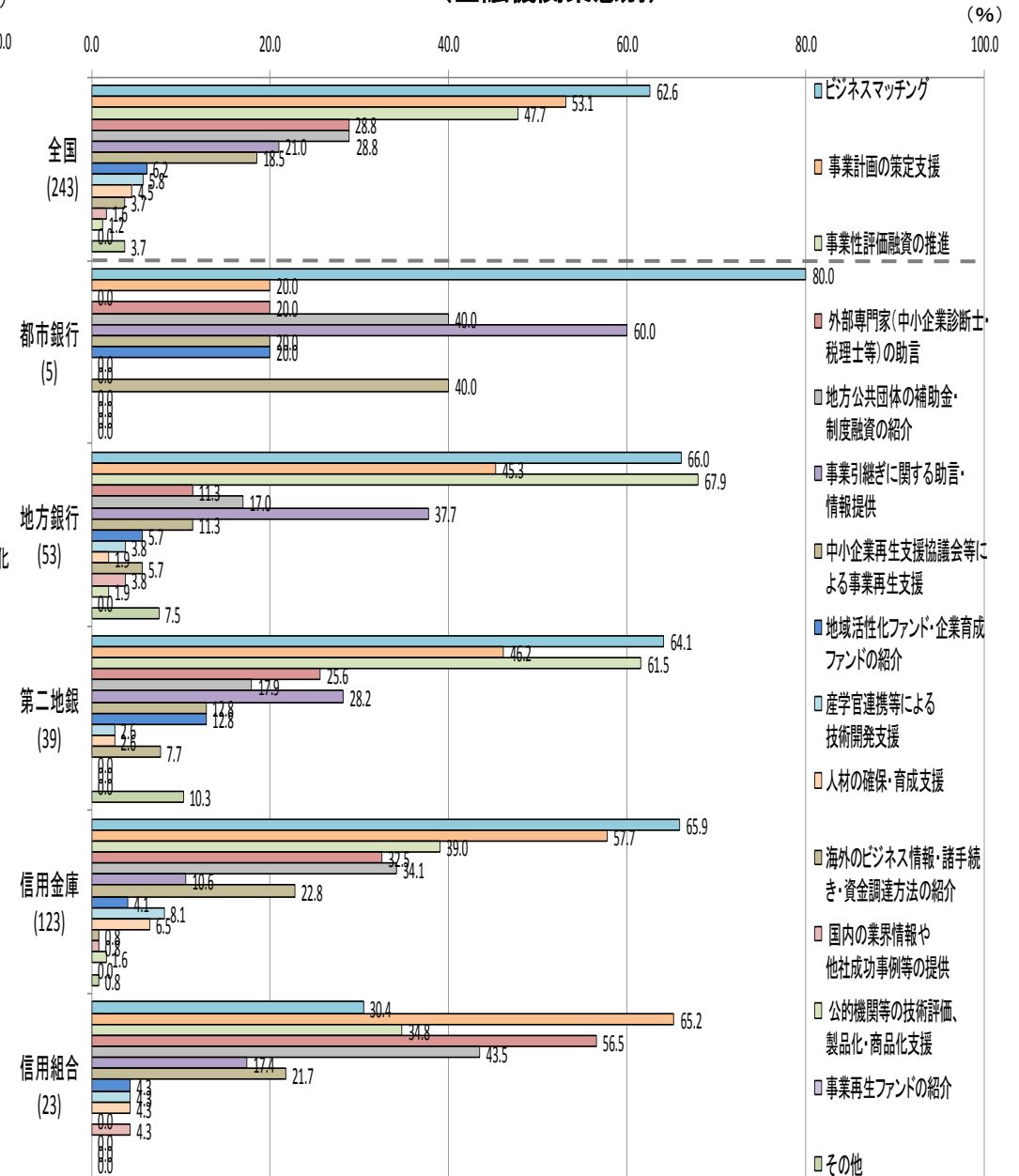
※1、()内は回答金融機関数

※2、回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

貸出先が抱える経営課題(金融機関業態別)



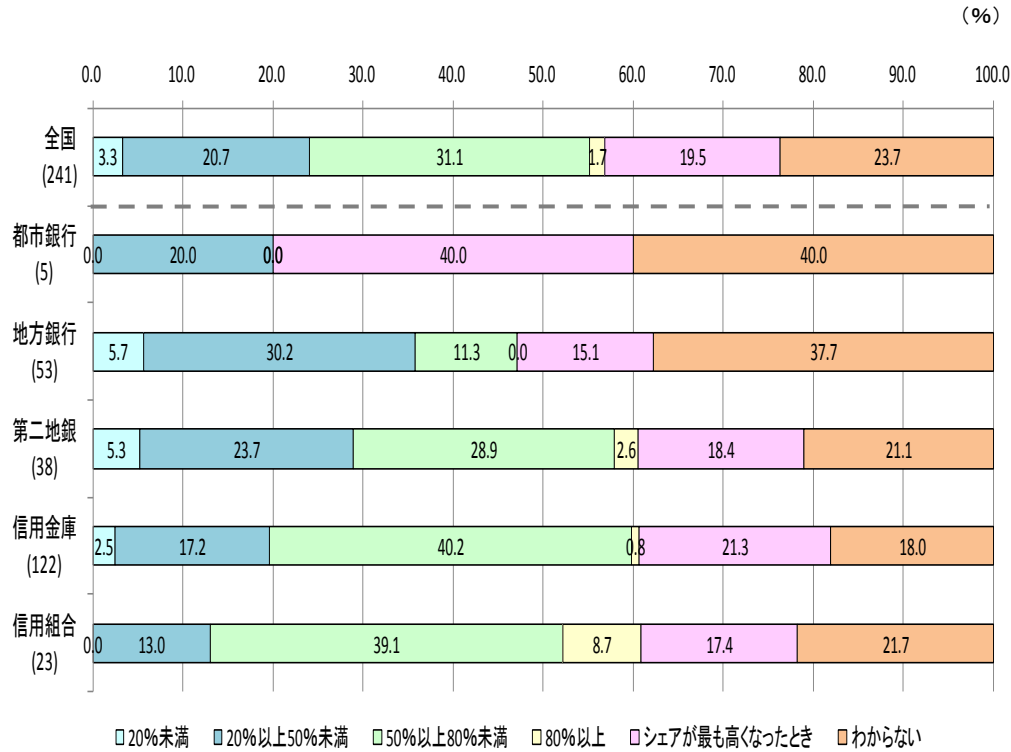
貸出先のライフステージに応じた金融機関の積極的な取組み(金融機関業態別)



※1、()内は回答金融機関数

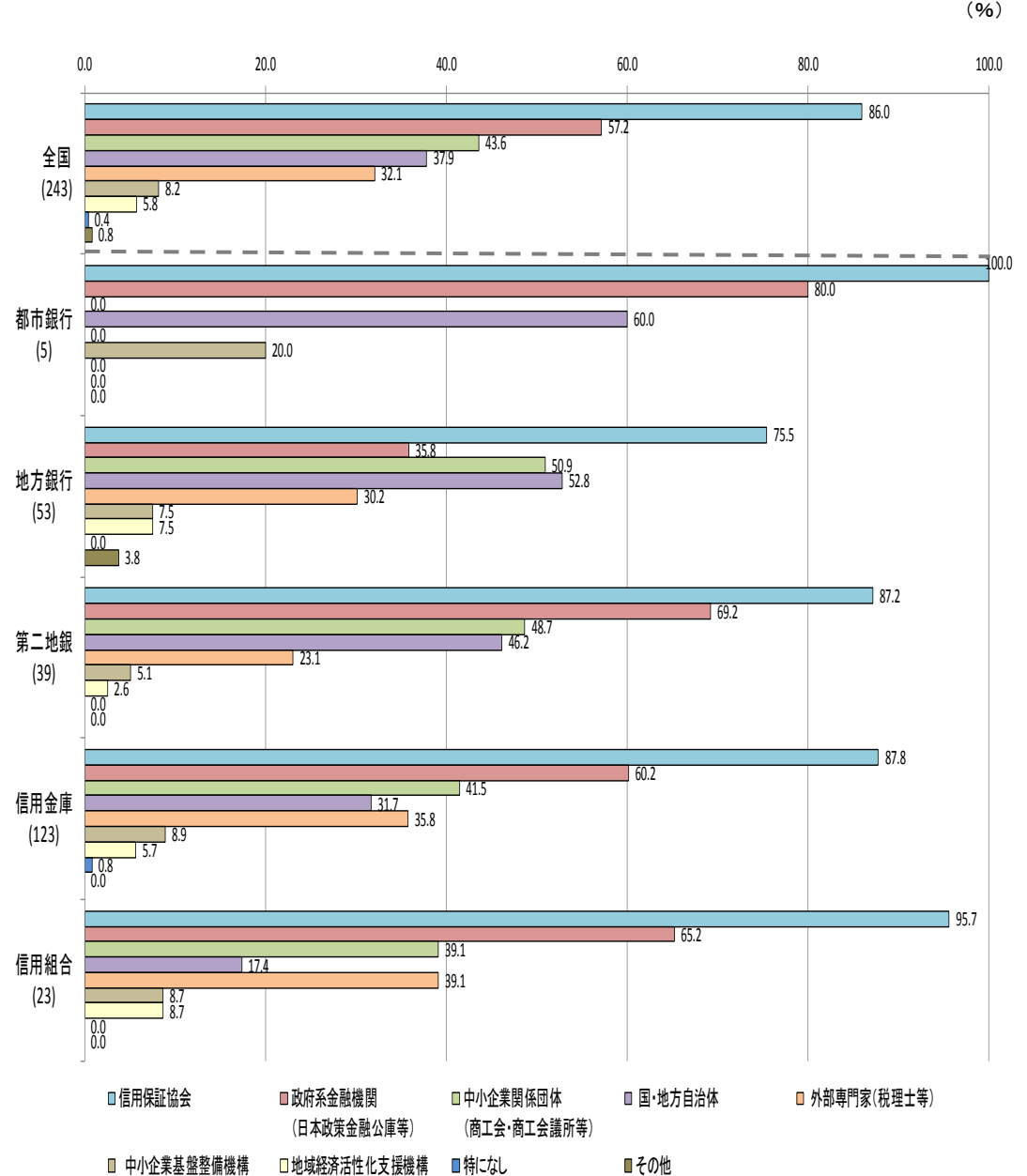
※2、回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

経営支援等を積極的に検討するようになる総借入残高に占めるシェア
(金融機関業態別)



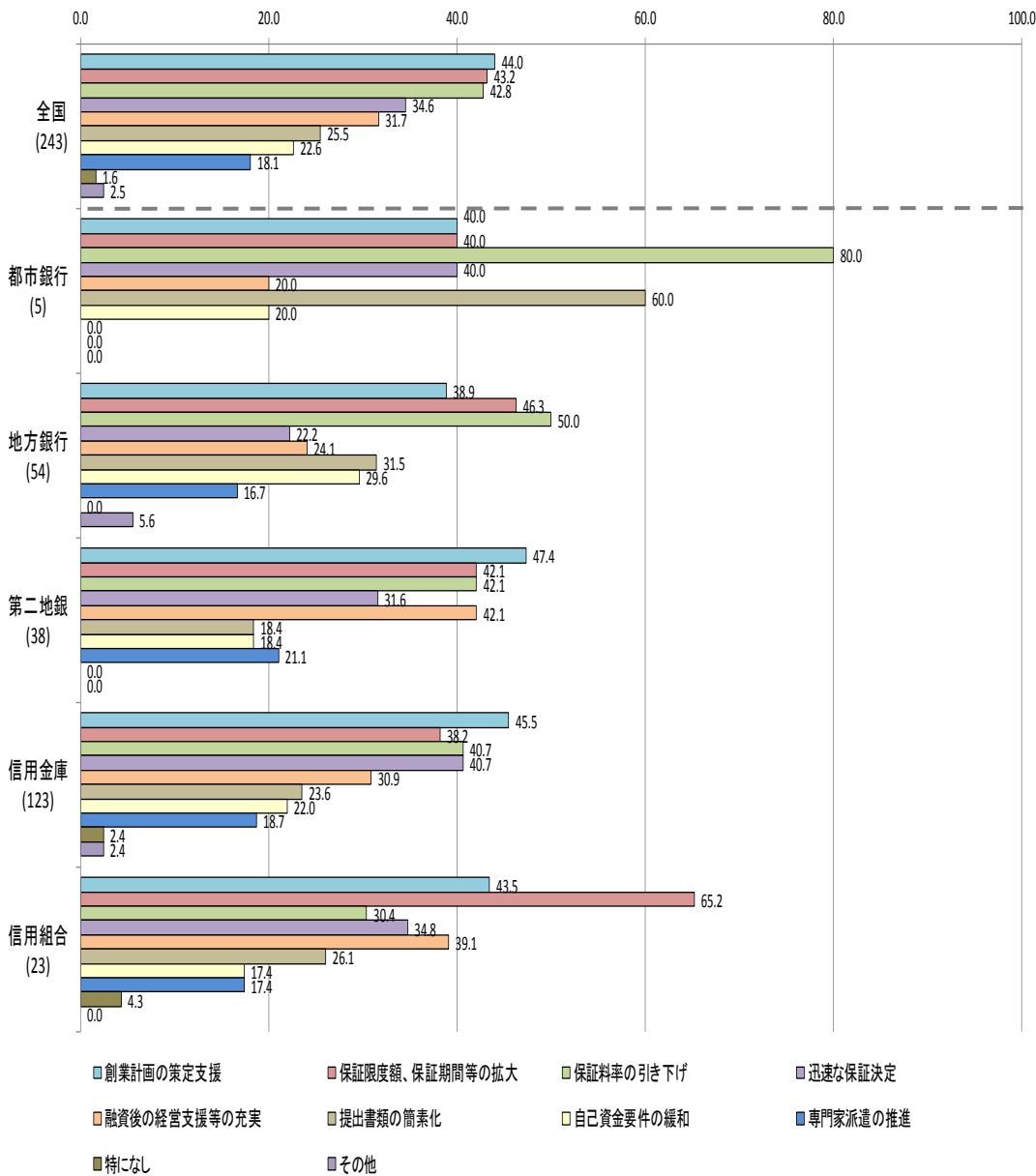
※()内は回答金融機関数

「創業・新事業開拓を目指す企業」を積極的に支援するために、
特に緊密連携が必要な関係機関(金融機関業態別)



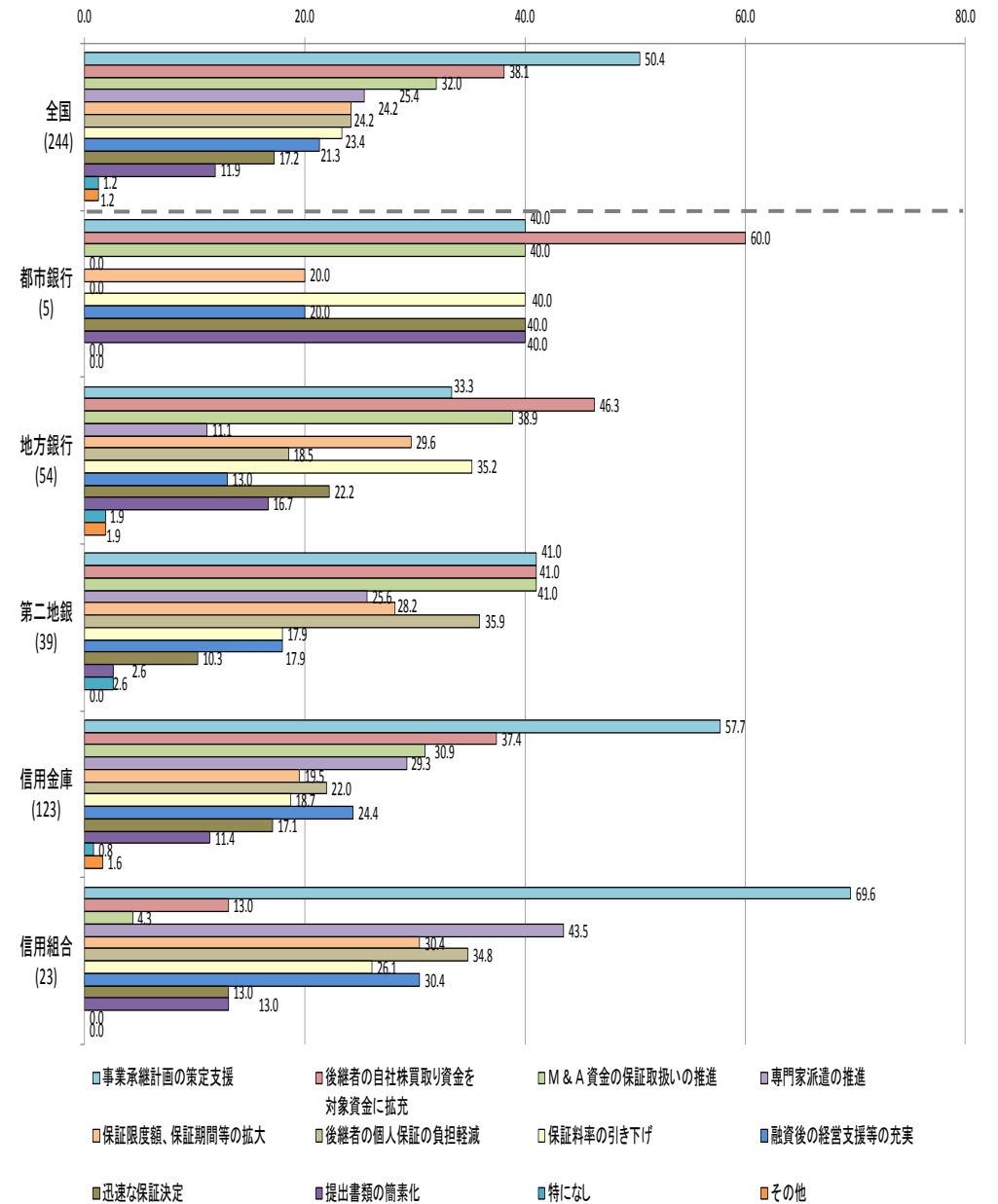
※1、()内は回答金融機関数 ※2、回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

「創業・新事業開拓を目指す企業」を積極的に支援するために、
信用保証制度や信用保証協会に期待するもの(金融機関業態別) (%)



※1、()内は回答金融機関数

「事業承継が必要な企業」を積極的に支援するために、
信用保証制度や信用保証協会に期待するもの(金融機関業態別) (%)



※2、回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。